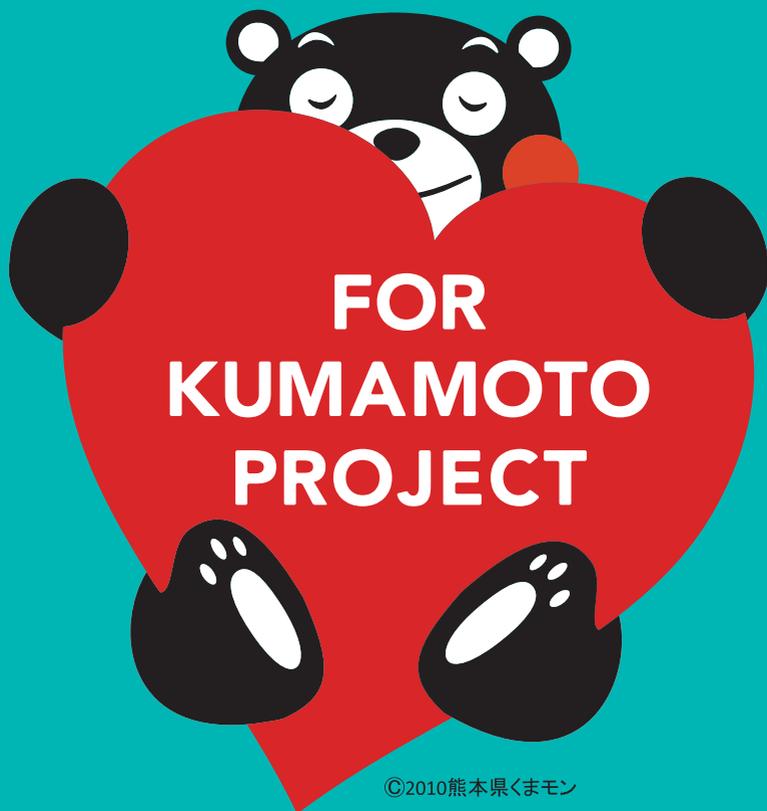


熊本県版 がん情報冊子

第4版（一部改訂）



©2010熊本県くまモン

熊本県版がん情報冊子のご利用にあたって

この冊子の情報は、がんの治療を受けられる患者さんやご家族の療養上のこと、生活の支援に関する熊本県の情報についてご紹介しています。

本冊子の詳細な情報はお近くのがん相談支援センターにお尋ねください。

注) 本冊子に掲載されている情報の中には、災害および新型コロナウイルス感染症などの影響により、窓口や開催状況などが変更になっている場合もございます。

発刊のごあいさつ

熊本県が組織する『熊本県がん診療連携協議会幹事会』の6つ目の部会として、2009（平成21）年に『相談支援・情報連携部会（以下、部会）』が設置されました。この部会は、熊本県におけるがんの患者さんとそのご家族へのがんの相談の支援、そしてがんに関する情報を社会に広く提供する体制の構築を主な目的として活動を行っております。

2016（平成28）年12月に『がん対策基本法』が改正され、その基本理念として、がんの患者さんが尊厳を保ちながら安心して暮らすことができる社会の構築を目指すことが掲げられました。現在、2017（平成29）年から2022（令和4）年までの『第3期がん対策基本計画』の中で、そのための様々な施策が、国家戦略のみならず地方における重要な政策の一環として実行されています。

今、「がんとともに生きる」人が増えています。

1981（昭和56）年を境に、日本人の死因のトップが脳血管疾患や心疾患を抜いて悪性新生物、いわゆる「がん」になりました。そして、この30年間で、がんにかかる日本人の数が2012（平成24）年には約3.5倍の85万人になり、2018（平成30）年には遂に100万人を越え、この数字は日本国民の高齢化が今後進むとともにさらに上昇することが予測されています。2人に1人がかかる病気になった中で、がん検診事業の推進と予防教育の普及、がんの診断と治療の著しい進歩によって、亡くなる患者さんの数は、約38万人に留まり、最新のデータでは5年生存率は64%です。3分の2の患者さんががんを克服され、また「がん」とともに、働きながら、あるいは自宅で療養しながら日々の生活をしておられます。一方、年間約2千5百人の小児、2万人を越える15～

39歳の思春期・若年（AYA: Adolescent and Young Adult）世代も新たにがんと診断されています。これまで殆ど目が向けられることのなかったこの世代の就学、進学、就労、結婚や妊娠など、治療後の生活支援がとても大切です。

熊本県では1年間に約1万4千人（2016年：平成28年）もの方々が新たにがんと診断されています。この患者さんの中には「がん」を知り「がん」と向かい合って生活されている多くの方がいらっしゃる一方で、患者さんやそのご家族から、困っていても“どこに相談したらよいかわからない”、“相談できることを知らなかった”などの声をお聞きすることも少なくありません。

そこで、本部会では患者さんやご家族、支援される方々の視点に立ち、患者さんががんを正しく理解し将来の展望をもって治療に臨んでいただくための一助にして頂ければという思いで、療養上のさまざまな情報をまとめた『熊本県版がん情報冊子』を作成し、2016（平成28）年1月に初版を発刊、2017（平成29）年3月、2018（平成30）年10月に改訂いたしました。そして今回、改訂第4版として各項目の内容の拡充とともに最新のがんゲノム医療情報を新たに加え、さらに人生の最終章における大切な意思決定のプロセスも記載しました。本書を通してがんで苦しんでいる患者さんやご家族の悩みの軽減、そして療養生活の質の維持向上に貢献できることを願ってやみません。

令和3年9月

熊本県がん診療連携協議会幹事会相談支援・情報連携部会 部会長
熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座 教授

武笠 晃丈

目次

1 がんに関する相談窓口

がん相談支援センター	06
がん診療連携拠点病院とは	09

2 がんの診断

がんと告げられたら	11
がんところ	13
家族が病気になった時の対応	18
「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)－人生会議－」	19
自分のがんを子どもにどう伝えるか	20

3 がんの治療

標準治療＝最も優れた治療（手術・薬物療法・放射線治療）	21
粒子線治療（重粒子線・陽子線）	25
免疫療法	26
がんゲノム医療	27
コラム1 他の治療法は？	29
セカンドオピニオン	30
がんの治療に伴う身体ケア	33
コラム2 ヘルプカード知っていますか	35
がんの治療と口腔ケア	36
「私のカルテ」・「私のノート」・「私の日記」	37

4 小児がん・AYA 世代のがん・希少がん

小児がん	38
AYA 世代のがん	43
がん治療と妊娠	44
希少がん	46
コラム3 中皮腫	48
コラム4 ATL（成人 T 細胞白血病リンパ腫）	49

5 緩和ケア

緩和ケアとは	50
緩和ケアの『5つの支援』	51

コラム5 医療用麻薬について	53
熊本市内の緩和ケア病床と緩和ケア病棟	55

6 在宅療養支援

在宅医療	56
コラム6 訪問診療と往診	56
在宅療養を支援する施設や職種	57
介護保険	59
コラム7 介護タクシーと福祉タクシー	59
障害者総合支援法	62
コラム8 共生型サービスについて	62
自治体の任意事業	65
ファミリー・サポート・センター	69
ひとり親家庭等の日常生活支援事業	71

7 がんの治療や生活を支える制度

医療費の負担を軽くする制度	72
コラム9 限度額適用認定証を申請しましょう	74
生活や暮らしを支える制度	80
がんと診断されたら就労相談	84
問い合わせ先一覧	90
市町村がん検診担当一覧	98

8 がんサロン・患者団体等のご紹介

がんサロン・患者団体等	100
「がんピア（仲間）おしゃべり相談室」	104
熊本市がんサポートセンター「がん相談ホットライン」	104

9 旅行時のポイント

10 災害時の窓口や備え

11 備忘録

12 がんの情報を得るために

1 がんに関する相談窓口

●がん相談支援センター

がんに関する相談窓口として、「がん診療連携拠点病院」(P.9)に設置されている、「がん相談支援センター」があります。

がんに関する治療、医療費などの経済的なこと、ご自宅で療養をされる時に利用できる制度、お仕事のことなど、がんに関するお困りごとについてご相談ください。専門のがん相談員と一緒に考えていきます。

ご本人だけでなく、ご家族なども無料でご相談が可能です。



●診断・治療について

- ・どこで治療ができますか
- ・どのような検査が必要ですか
- ・セカンドオピニオンを受けたいなど

●医療費について

- ・どれくらい医療費はかかりますか
- ・負担を軽くする制度はありますか
など

●生活について

- ・仕事はできますか
- ・食事の制限はありますか
- ・自宅で生活するためのサービスはありますか
など

●こころについて

- ・説明を受けてから気持ちが落ち込んでいます
- ・不安があります
- ・夜が眠れません
など

県内のがん相談支援センター

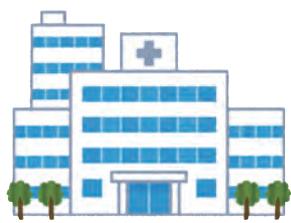
二次保健 医療圏	病院名	住所・電話番号
熊本 (全域)	★熊本大学病院	熊本市中央区本荘1-1-1 096-373-5676
熊本・ 鹿本	◆独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	熊本市中央区二の丸1-5 096-353-6501
熊本・ 菊池・ 阿蘇	◆熊本赤十字病院	熊本市東区長嶺南2-1-1 096-384-2111
熊本・ 宇城	◆社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	熊本市南区近見5-3-1 096-241-0275
熊本	医療法人創起会 くまもと森都総合病院	熊本市中央区大江3-2-65 096-364-6000
熊本	一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター	熊本市中央区本荘5-16-10 096-363-3311
熊本	社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院	熊本市中央区大江3-2-55 096-320-6500
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	熊本市南区田井島1-5-1 096-370-3111
熊本	熊本市市民病院	熊本市東区東町4-1-60 096-365-1711
有明	◆荒尾市民病院	荒尾市荒尾2600 0968-63-1115
鹿本	山鹿市民医療センター	山鹿市山鹿511 0968-44-2185
菊池	独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター	合志市須屋2659 096-242-1000

二次保健医療圏	病院名	住所・電話番号
八代	◆独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	八代市竹原町1670 0965-33-4151
八代	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	八代市通町10-10 0965-32-7111
天草	一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	天草市亀場町食場854-1 0969-24-4111
天草	独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院	天草市東町101 0969-22-0011
球磨	◆独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	人吉市老神町35 0966-22-2191
芦北	国保水俣市立総合医療センター	水俣市天神町1-2-1 0966-63-2101
宇城	独立行政法人国立病院機構 熊本南病院	宇城市松橋町豊福2338 0964-32-0826
阿蘇	阿蘇医療センター	阿蘇市黒川1266 0967-34-0311

★都道府県がん診療連携拠点病院 ◆地域がん診療連携拠点病院
無印：熊本県指定がん診療連携拠点病院

がん相談支援センター
～患者様・ご家族を支えます～

©2010 熊本県くまモン
熊本県がん相談機能発展事業



がん診療連携拠点病院とは

がん診療連携拠点病院とは、どこに住んでいても質の高い、がん医療が受けられるように、がん診療の拠点として指定されている病院です。

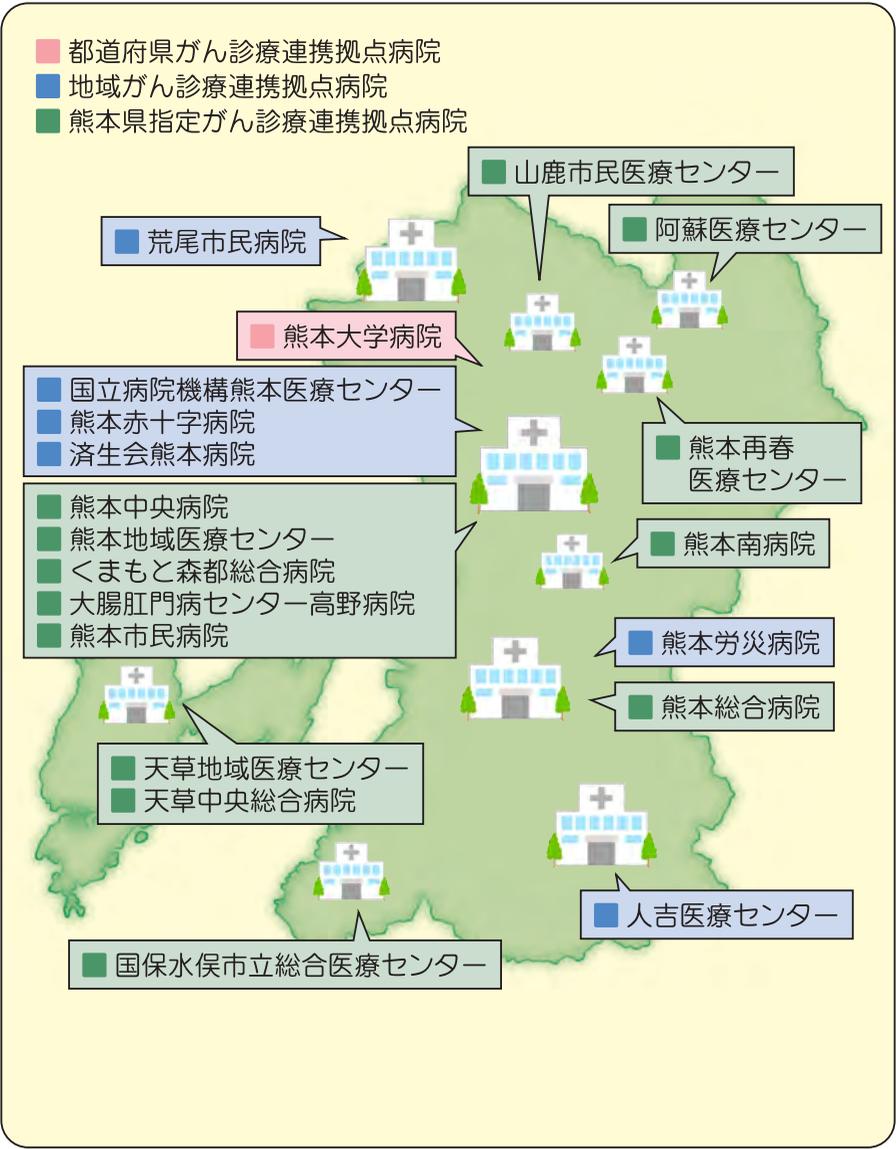
熊本県内には、国指定の「都道府県がん診療連携拠点病院」（1か所）と「地域がん診療連携拠点病院」（6か所）、県指定の「熊本県指定がん診療連携拠点病院」（13か所）があります。その特徴は、以下のとおりです。

- 専門的ながん医療（手術、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療など）が受けられます。

- 緩和ケア※が受けられます。

※緩和ケアとは、がんと診断された時から、患者さんやその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。がん診療連携拠点病院には、様々な専門職（医師・薬剤師・看護師・相談員など）による緩和ケアチームがあり、患者さんやご家族のつらさについて対応する体制があります。

- 無料のがん相談窓口、がん相談支援センターがあります。



2 がんの診断

● がんと告げられたら

『がん』と告げられるのは衝撃的なことです。『がんの疑いがある』と言われてから『がん』と告げられるまでの間も不安だったと思います。

がんの告知を受けたとき、大きな衝撃を受け、動揺するのは当然のことです。「頭が真っ白になった」「ショックで涙が出た」「告知を受けた後、どうやって家に帰ったのか思い出せない」という人もたくさんいます。また、怒りが込み上げてきたり、気持ちが不安定になったりする人もいます。食欲がない、不安で眠れない、前向きな気持ちになれないなど、こうした心の動きは、誰にでも起こります。

これから始まる治療をきちんと納得して受けるために、担当医からきちんと説明を聞きましょう。

● 説明を受けるときのポイント！

① 説明前に準備すること

気になること、
わからないことを
書き出します

書き出した内容を
整理し、優先順位
をつけます

質問することを
メモにまとめ
ましょう

② 説明のとき

説明がわからない
時は、その場で
確認しましょう

後で確認できるよ
うにメモを取りま
しょう

わからないことが
出てきたら、看護
師やがん相談窓口
に聞きましょう

※家族や親しい人に同席してもらうと、少し落ち着いて受け止めることができるかもしれません。また、聞き漏らしたことを確認することができます。

質問例

- 診断について
 - ・ 診断名（病名）は何ですか？
 - ・ がんはどの程度進行していますか？

- 今後の予定について
 - ・ 今後はどのような検査がありますか？
 - ・ どのような治療がありますか？
 - ・ 治療による副作用などがありますか？

- 社会生活について
 - ・ 今まで通りの生活（仕事）が続けられますか？
 - ・ 普段の生活について注意することはありますか？



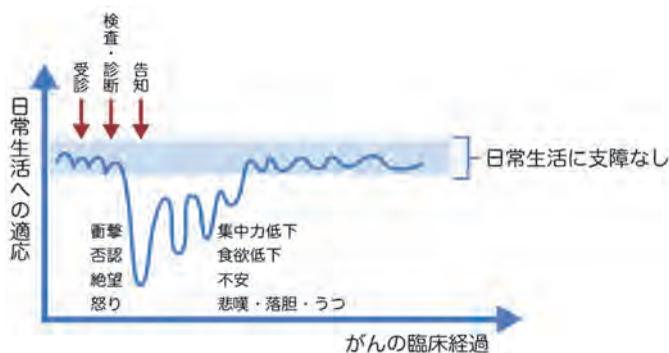
● がんところ

がんと告げられたとき、大きな衝撃を受けますが、誰にでも起こりうる自然なところの動きです。

やがて時間の経過とともに少しずつ冷静に考えることができるようになり、治療に向かい合うことができるようになります。これも自然なところの流れです。

がんところと身体の反応

がんと告げられたとき、ところと身体はどのように反応するのでしょうか。



出典：厚生労働省 e-ヘルスネット情報提供より

病院を受診し、検査を受け、がんを診断を受けられたとき、大きな衝撃と動揺、混乱が生じます。気持ちが不安定になり、何かの間違ひであると否認したり、集中力の低下などところの症状が現れてきます。身体の症状としては、食欲がない、夜眠れないなどの症状が現れ、この状態が1～2週間程度続く方が多いという報告があります。その時期を過ぎると、少しずつ日常を取り戻していきます。

- 頭が痛い・重い
- 肩や首筋がひどく凝る
- 食欲がなくなる
- 息が詰まり、苦しい
- 動悸がする
- 血圧が高くなる
- 便秘や下痢になる
- 眠れない
- なんとなく体がだるく、疲れやすい

- 気分が憂うつだ
- 何をしても楽しめない
- やる気がでない
- 物事に集中ができない
- 怒りっぽくイライラする
- いつも緊張していてリラックスできない
- そわそわして気持ちが落ち着かない
- 考えたくないのに嫌なことを考えてしまう
- 心配事が頭から離れない



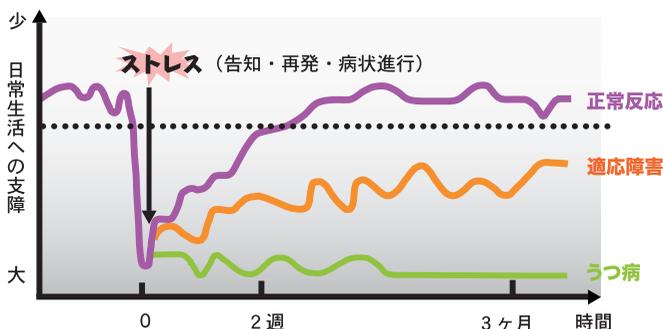
- お酒の量が増える
- 過度にギャンブルにのめりこむ
- 衝動買いが増える
- 食事を食べない／食べ過ぎる
- 外出が減り引きこもる
- 習い事や趣味をやりがらない
- 会社を休みがちになる
- 横になってばかりいる

出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより（一部図を変更）

上の図は、日本サイコオンコロジー学会がまとめた、こころと身体の症状に関するチェック表です。該当するものが多い方は一度こころの治療について考えてみましょう。

主なこころの疾患

がんと告げられ、なかなかこころと身体の症状が回復してこない場合、こころの疾患の治療が必要なことがあります。主な疾患についてご紹介します。



出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより

● 適応障害

がんの治療を受けながらの生活は、これまで経験したことがなく、想像もしたことがない生活です。新しい環境に慣れることができず、頭痛、動悸、身体のだるさ、不眠など身体の症状に、落ち込み、不安、意欲の低下などこころの症状が現れ、これらの症状のために仕事ができないなど、日常生活の送りづらさを感じた状態を、適応障害といいます。

● うつ状態

適応障害よりこころの苦痛がひどく、身のおきどころがない、何も手につかないなどの落ち込みが2週間以上持続し、日常生活を送ることが困難な状態です。エネルギーが枯渇する、よく例えて使われるのが、車のガス欠状態のようなものと言われます。

* * 心の症状 * *

■ 気分の落ち込み ■

- ・気分が落ち込み、憂うつな気分になる
- ・悲しい気持ちになる
- ・何の希望もなくなる

■ 興味関心 ■

- ・これまで好きだったことへの興味や喜びがなくなる
- ・笑わなくなった
- ・身だしなみに関心を払わなくなる

■ 意欲の低下 ■

- ・気力が低下して、何をするにも億劫になる
- ・人付き合いも嫌になる
- ・仕事をしたくなくなる
- ・テレビや新聞を見なくなる

■ あせり・罪悪感 ■

- ・あせってイライラする
- ・根拠もなく自分の責任だと思う
- ・過去の小さなことを思い出しては悩む

■ 思考力の低下 ■

- ・集中力がなくなり能率が下がる
- ・物事の判断ができなくなる

* * 体の症状 * *

■ 睡眠 ■

- ・眠れない
- ・眠りが浅かったり、朝早く目が覚める
- ・朝、目が覚めたときが一番憂うつ
- ・睡眠不足から頭痛や肩こりに悩まされる

■ 食欲 ■

- ・食欲がなくなる
- ・何を食べても美味しいとは思えず、砂をかんでいるようだ
- ・体重が減った（または増えた）
- ・胃がもたれる
- ・むかつきがある

■ その他 ■

- ・発熱が続く
- ・めまいがする
- ・息切れがする
- ・体がだるい
- ・動いていないのに、疲れやすい
- ・体の動きが遅い
- ・トイレが近くなる
- ・便秘や下痢に悩まされる
- ・性欲が落ちる

出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより

自分で取り組むこころのケア

● 人に相談する

- ・信頼できる方にお話を聞いてもらいましょう
- ・がんサロンや患者会などに参加して経験者のお話を聞いてみましょう
- ・担当医や看護師、相談員に相談してみましょう
- ・心療内科や精神科に相談してみましょう

● こころの中を整理する

- ・疑問や心配事、不安に思っていることを紙などに書き出し、今考えるべきこと、あとで考えてもよいことの仕分けをしてみましょう
- ・がん専門相談員、本、インターネットなどから正しい情報を集めましょう

※インターネットにはいろいろな情報が掲載されています

正しいものかどうかを吟味して利用しましょう

国立がん研究センターがん情報サービスのホームページでは多くの情報を得ることができます（P.110）

● 病気を忘れる時間を作る

- ・趣味のある方は、趣味に打ち込んでみましょう
- ・周囲の景色などを眺めながら散歩をしてみましょう
- ・負担にならない程度に身体を動かしてみましょう
- ・好きな映画やテレビを観てみましょう



● いつもと違う考え方や対処法を試してみましょう

- ・自分が心配していることが起こる可能性はどれくらいあるのかを冷静に考えてみましょう
- ・過去のつらかった状況を乗り越えるのに役立つ考え方などを思い出して、応用できるかを考えてみましょう
- ・経験者の方や他の患者さんが行っている取り組みを試してみましょう

● 自分を責めないようにしましょう

- ・病気になると誰でも不安を感じます
不安を抱くのは当然のことと考えてみましょう
- ・落ち込んでいる自分、不安を持っている自分を責めないようにしましょう

自然なこころの動きです

●家族が病気になった時の対応

家族ががんと告げられることは、家族にとっても大きな衝撃です。生活のこと、経済的なこと、いろいろなことが心配になると思います。

一方で、患者さんが苦しんでいるのに、自分がしっかりしなければならぬと頑張りすぎる方がいます。また、患者さんにどのように接したらよいかわからないという方もいます。

家族の対応の仕方についてご紹介します。



●患者さんの話に黙って耳を傾ける

患者さんが話をしていると、ついつい口をはさみたくなりますが、そこは少しこらえて、患者さんの話に耳を傾けてはいかがでしょうか。患者さんの話を黙って聞くことが患者さんの気持ちの理解や共感につながります。

患者さんから「つらい」という言葉が聞かれると家族が元気づけようと「そんなこと言わずに頑張ろうよ」と口をはさむことがよくあります。そうすると、患者さんは本当の気持ちを話せなくなります。このような場合には、何がつらいのか患者さんから聞き、つらさを共有してあげることが患者さんの支えにつながることがあります。

●病気や死に関する話題について率直に話し合う

患者さんがご自分の病気や死に関する心配を口にしたときには、何が心配なのか、将来の計画をどうしたいと考えているのかなどを率直に話し合い、患者さんの意思を尊重して家族に何ができるかを考えてみてはいかがでしょうか。患者さんの心配を一緒に考えてあげるとは、患者さんの安心感につながります。

●これまでどおりに接する

病気をきっかけに特別扱いされることで患者さんにとっては家族の中での孤立感を強める場合があります。担当医に、現在の身体状況で何ができて何ができないかを確認したうえで、患者さんができること、やりたいことを一緒に相談していきましょう。時には家族の手助けも必要となることもあるかもしれませんが、ご家族のこれまで通りの対応が患者さんの生きがいにつながります。

● 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)－人生会議－」

「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」とは、「もしものときのために、本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと」(厚生労働省ホームページより)であり、「人生会議」とも言われます。患者さんの意思が確認できなくなったときにも、それまでの意思をもとに尊厳あるその人らしい生き方を実現するためのものです。また、自分の代わりに難しい決断をしなければいけない家族の負担を軽くすることもできます。

死が近づいた時などの特定の時期に限定したものではなく、また生命維持治療など特定の治療やケアに限定したものでもありません。病状や治療の変化に伴い患者さんの意思も変わることがあるので、繰り返し話し合い、その情報を家族や医療者と共有しておくことが大切です。

意志決定やアドバンス・ケア・プランニングについてもっと知りたい方、あるいは実際にやってみたい方は、最寄りのがん相談支援センター (P. 7～8) や熊本大学病院緩和ケアセンター (096-373-5635) にお尋ねください。



●自分のがんを子どもにどう伝えるか

がんと診断されたとき、治療のこと、生活のこと、仕事のことなど様々なことを悩み不安に感じます。自分のがんを子どもにどう伝えるかも大きな悩みの一つです。同時に子どもも家族の変化に何かを感じとり不安になることもあります。

子どもにいつどのように伝えるか、担当医や看護師、相談員に相談し一緒に考えてみましょう。

本や資料を使うことでイメージができ、伝えやすくなったり、伝え方のヒントが見つかったりするかもしれません。

●ノバルティスファーマ ホームページより

<https://www.novartis.co.jp/our-work/support-for-patients>



●ホープツリー

がんになった親を持つ子どもへのサポート情報サイトより

<https://hope-tree.jp>



3 がんの治療

がんの治療には様々なものがあります。その主なものは手術と薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療です。病気の種類や状態によって異なりますので、詳細は担当医などにご相談してください。

●標準治療＝最も優れた治療 （手術・薬物療法・放射線治療）

標準治療と先進医療はよく比較されます。「先進」と「標準」という言葉を比べると、どうしても標準の方が劣っているように感じてしまいますが、標準治療というのは「現時点で最も効果が期待できる優れた治療法」の事です。

がん治療においては診療ガイドライン（推奨グレード）といい、がんの種類や進行度合いによって推奨される治療法が決まっています。その推奨グレードで最も高いグレードAにあたるものが標準治療です。世界中の治験実績やデータを元に、最もお勧めできる治療法がグレードAの治療ということになります。



●手術

手術とは身体にできた腫瘍などを切除する外科的な治療法のことをいいます。

がんに対する手術療法は、原発巣（おおもとの腫瘍）とその周囲のリンパ節を切除することが一般におこなわれています。また、胃や大腸といった消化管（食物の通り道）を切除する場合には、切除した後に通り道を再建することも必須となります。したがって単純に腫瘍を切除するだけではない、高度な技術が要求されます。

手術は患者さんの身体に加わる侵襲が大きく、出血や全身麻酔に伴うリスクもあります。したがって手術によるメリット（がんを治せる可能性など）が十分にあると判断された場合に初めて適応となります。そのような手術以外に、がんによる苦痛症状などを緩和するためにおこなう手術（姑息的手術といいます）もあります。

最近では「腹腔鏡手術」や「ロボット手術」などの手術方法そのものも進化しています。手術を受ける場合には、何のために受けるのか、どのような方法があるのか、どの程度のリスクがあるのか、といったことの説明を担当医から十分に受け、理解し納得した上で受けていただくことが重要です。



●薬物療法（抗がん剤治療）

薬物療法とは、抗がん剤、分子標的薬、ホルモン剤などによる治療をいいます。

抗がん剤は100種類近くあり、治療薬として使われています。がんを殺す能力を持つ抗がん剤、分子に作用してがん増殖を押さえる分子標的薬、がんを殺す免疫を復活させる免疫チェックポイント阻害薬などがあり、単独ではなく複数の治療法と組み合わせて行われることもあります。

薬物療法は手術や放射線治療などの局所を治療する方法と違い、がん細胞だけでなく他の健康な細胞にも影響を及ぼすため全身に影響が出ることが多いとされます。治療を始める前に、治療期間や予想される副作用、日常生活の注意点などについて説明を受けましょう。副作用が現れたら、我慢せずに医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。



がん種別薬物療法の目的

治療が期待できるもの

急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫（中・高悪性度）、胚細胞腫瘍、絨毛がんなど

症状緩和や延命が期待できるもの

軟部組織腫瘍、頭頸部がん、食道がん、子宮がん、非小細胞肺がん、胃がん、腎がん、膀胱がん、前立腺がん、肝がん、胆道がん、膵がん、脳腫瘍、甲状腺髄様がん、乳がん、卵巣がん、小細胞肺がん、大腸がん、多発性骨髄腫、慢性骨髄性白血病、非ホジキンリンパ腫（低悪性度）骨肉腫、悪性黒色腫など

●放射線治療

放射線治療は手術、薬物療法とともに重要な治療法です。がんの種類や腫瘍の性質によって治療法が選択されます。

副作用としては、全身の倦怠感、食欲低下、貧血、白血球減少、血小板減少、皮膚の変化などがあります。症状が現れた場合は、医師や看護師などにご相談ください。

がん種別放射線治療の目的

治療の目的	対象がん
治癒させることが目的の治療 抗がん剤と併用して行うことや手術中・後に照射することもあります	頭頸部がん・悪性リンパ腫・子宮頸がん・肺がん・食道がん・前立腺がん・皮膚がんなど
再発に対する治療	食道がん・肺がん・頭頸部がん・乳がんなど
骨髄移植の前に免疫力を落とすためや白血病などの再発を減らすための治療	白血病など
手術中にがん組織に放射線を照射する方法	膀胱がん・直腸がん
症状の緩和を目的としたもの 咳や痛みを和らげるためなど	種々のがん



●粒子線治療（重粒子線・陽子線）

粒子線治療とは、重粒子線や陽子線等をがんの病巣に照射して治療する、放射線治療の種類です。標的となるがん病巣に対して重粒子線や陽子線を集中して照射ができるため、がん細胞を死滅させる効果が高く、副作用がすくなくできます。重粒子線と陽子線の違いは、重粒子線の方が陽子線より集中して照射できる点です。

効果的ながんの種類としては、前立腺がん、頭頸部の腫瘍、肺がん、肝臓がんなどに現在のところ有効とされています。

しかし、保険適用がされている診察や検査、入院料、薬代以外の費用（重粒子線そのものの治療）は自由診療という保険外の治療になるため、高額な負担がかかります。九州では、鹿児島県や佐賀県に専門の治療施設があります。

平成28年4月から、骨軟部がん（切除非適応の骨軟部腫瘍）、平成30年4月から、前立腺がんと頭頸部がん（口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く）について、公的医療保険が適用されます。

がん治療は高額な医療費がかかることがあります。このため、途中で治療の継続が難しくなられる方もおられます。治療を中断される前に、がん相談支援センターなどにご相談ください。

●免疫療法

免疫療法は、私たちの体の免疫を強めることにより、がん細胞を排除する治療法です。この治療法は近年注目されており研究が進められています。しかし残念ながらまだほとんどの免疫療法では有効性（治療効果）が証明されていません。

現在、効果が証明され、診療ガイドラインに記載されて標準治療となっている治療方法は、「がん細胞などが免疫にブレーキをかける仕組み」に働きかける免疫チェックポイント阻害薬などの一部の薬に限られています。

効果が証明されている免疫療法についてもすべての患者さんに効果があるわけではなく、一定の割合の患者さんにのみ効果があるということがわかっています。

副作用については、従来の化学療法に比べて少ないと報告されていますが個人差が大きく、いつ生じるか予測がつかないため注意が必要です。

また、思わぬ部位に副作用が出ることもありますので、免疫療法を受ける前に副作用についてよく確認し、いつもと違う症状を感じたら、医師や薬剤師、看護師にすぐに相談しましょう。

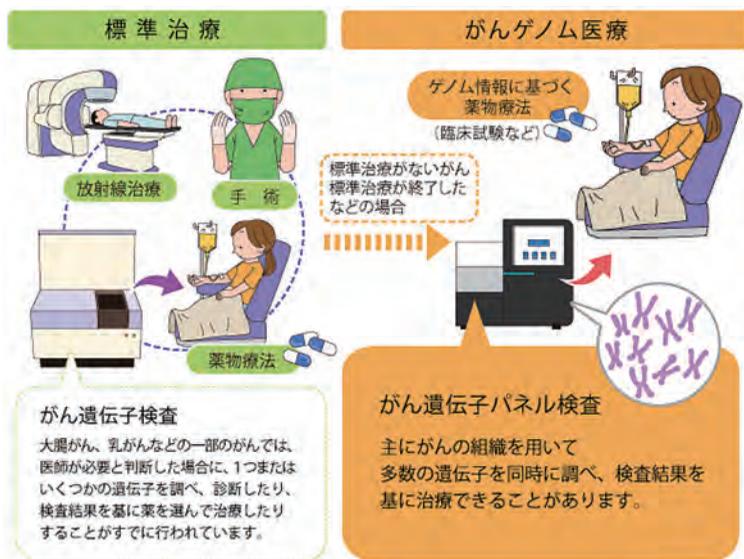
●がんゲノム医療

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子変異^(※1)を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療です。

(※1) 遺伝子変異：細胞の中の遺伝子がなんらかの原因で後天的に変化することや、生まれもった遺伝子の違い

一部のがんの治療では、がんの組織などを用いて1つまたはいくつかの遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」を行い、遺伝子の変化に対応した薬の選択が、標準治療としてすでに行われています。

一方、がんゲノム医療として、多数の遺伝子を同時に調べる検査である「がん遺伝子パネル検査」は、標準治療がないまたは終了したなどの条件を満たす場合に行われています。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がんゲノム医療 まず、知っておきたいこと』

がんゲノム医療連携病院

医療機関名	住所・電話番号
熊本大学病院	熊本市中央区本荘 1-1-1 096-373-5643

熊本大学病院がんゲノム検査外来

<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/dept/e10.html>

患者さんからの直接予約は受け付けておりません。必ずかかりつけ医の医師（現在治療をお受けの医療機関）から、熊本大学病院医療サービス課（がんゲノム担当）を通じて予約をしてもらいましょう。

●がんゲノム検査についてのお問い合わせ

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（P.7～8）

【コラム1】他の治療法は？

● 温熱療法

温熱療法は、がん細胞が正常の細胞と比べて熱に弱いという性質を利用した治療法です。

全身を温める方法（全身温熱療法）と、がんやその近くを温める方法（局所温熱療法）があります。一般的には局所を電磁波やマイクロ波などを用いた装置で温めます。また、胆管など管腔内に器具を入れて温める方法やがん組織に電極を刺し温める方法もあります。単独で行われるより複数の治療法を組み合わせることが多いようです。国内で治療を行う装置の普及も増え、現在は全面保険適用になりました。がんの場所や進行度によっては適さないこともありますので治療法の選択については、担当医とよく相談して受けるようにしましょう。

● 補完代替療法

補完代替療法とは、がんの治療の目的で行われている治療法（手術、薬物療法、放射線治療など）を補ったり、その代わりに行う医療のことをいいます。

健康食品やサプリメント、鍼・灸、マッサージ療法、運動療法、心理療法、心身療法などがあります。しかし、補完代替療法はがんの進行を遅らせる、生存率を高めるという治療効果が医学的に証明されたものではありません。このため、補完代替療法を受ける場合は、必ず担当医と相談のうえ受けるようにしましょう。

● ラジオ波焼灼療法（RFA）

身体の外から特殊な針をがんに直接刺し、通電してその針の先端部分に高熱を発生させることで、局所的にがんを焼いて死滅させる治療法です。焼灼時間は10～20分程度です。

● 凍結療法

腫瘍に特殊な針を刺してがん細胞を凍らせ、細胞膜を破壊し、壊死させる治療法です。高齢や持病などの理由により手術が難しい場合に実施することがあります。

●セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、治療の進行状況、治療の選択などについて、担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。担当医を替えたり、転院したり、治療を受けたりすることではありません。

セカンドオピニオンを受けることで、病気に対する理解が深まったり、別の治療法が提案された場合には治療の選択の幅が広がったりすることがあり、より納得して治療に臨むことができます。担当医が気を悪くされてはいけなさと心配される方もいらっしゃいますが、セカンドオピニオンは、納得できる選択をするために大変有用な仕組みです。

●セカンドオピニオンを受ける場合

担当医の意見を十分に理解した上で、担当医にセカンドオピニオンを受けたいと考えていることを伝え、紹介状（診療情報提供書）、血液検査、病理診断記録、画像検査結果などを依頼します。

セカンドオピニオン先の病院には、その目的、病気の経過、質問事項などを整理し、メモしてから行きましょう。信頼できる人に同行してもらおうとよいでしょう。

セカンドオピニオンを受けたら、現在の担当医に報告した上で、これからの治療法について再度相談しましょう。

セカンドオピニオン外来を行っている病院、専門領域などの情報は、がん相談支援センターに聞くことができます。

〈セカンドオピニオンを受ける時の流れ〉

- ①担当医に診断と治療方針（ファーストオピニオン）を聞きましょう
- ②セカンドオピニオンを受けたいという希望を担当医に伝えて、紹介状を書いてもらいましょう
- ③希望の医療機関にセカンドオピニオンの申込みをしましょう
- ④事前に、聞きたいこと、ご自分の希望などをまとめておきましょう
- ⑤セカンドオピニオンの結果を担当医に報告して、今後のことを相談しましょう

※迷われた場合はがん相談支援センターに相談してみましょう。

がんに関するセカンドオピニオン問い合わせ先一覧表

	医療機関名受付窓口	セカンドオピニオン 受付時間	問い合わせ先	セカンドオピニオン料金 (報告書作成含む・税込)
熊本	熊本大学病院 地域医療連携センター	月～金 8:30-17:15	096-373-5676	1回 33,000円
	熊本市立熊本市民病院 がん相談支援センター	月～金 8:30-17:00	096-365-1711	30分 7,850円 以降30分 7,850円
	熊本赤十字病院 医療社会事業課	月～金 8:30-17:00	096-384-2111	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	国立病院機構熊本医療センター 地域医療連携室	月～金 8:30-17:00	096-353-6501	30分 11,000円 以降30分 11,000円
	済生会熊本病院 地域医療連携室	月～金 8:30-17:00	096-351-8372	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	熊本中央病院 がん相談支援センター	月～金 9:00-16:00	096-370-3111	30分 11,000円 以降30分 11,000円
	熊本地域医療センター 地域医療連携室	月～金 9:00-17:00	096-363-3311	30分 5,500円 以降30分 5,500円 ※最長60分
	くまもと森都総合病院 セカンドオピニオン 相談窓口	月～金 8:30-17:00	096-364-6000	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長90分
	大腸肛門病センター 高野病院 医療福祉課	月～金 9:00-17:00 土 9:00-12:00	096-320-6500	1回 5,500円 (診療を行った 場合は保険診療 内で負担)
有明	荒尾市民病院 相談支援センター	月～金 8:30-17:15	0968-63-1115	30分 7,840円 以降30分 7,840円
鹿本	山鹿市民医療センター 地域医療連携室・がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	0968-44-2185	30分 6,050円 以降30分 3,300円
菊池	熊本再春医療センター がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	096-242-1000	30分 11,000円 以降30分 5,500円

	医療機関名受付窓口	セカンドオピニオン 受付時間	問い合わせ先	セカンドオピニオン料金 (報告書作成含む・税込)
天草	天草地域医療センター 医療・福祉連携室	月～金 8:30～17:30	0969-24-4111	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	天草中央総合病院 地域医療連携室	月～金 8:30～17:15	0969-22-0011	30分 5,500円 以降30分 5,500円
宇城	国立病院機構熊本南病院 地域医療連携室	月～金 8:30～17:15	0964-32-0826	60分 11,000円
八代	熊本労災病院 地域医療連携室	月～金 8:15～17:00	0965-33-4151	30分 7,500円 以降30分 7,500円
	熊本総合病院 地域医療連携室	月～金 9:00～17:00	0965-32-7111	相談無料（検査等 は保険診療内で負担）
芦北	国保水俣市立総合医療センター 地域医療支援室	月～金 8:30～17:00	0966-63-2101	30分 7,700円 以降30分 7,700円
人吉	人吉医療センター 相談支援センター	月～金 8:30～17:00	0966-22-2191	60分 5,500円 以降30分 5,500円
阿蘇	阿蘇医療センター がん相談支援センター	月～金 8:30～17:15	0967-34-0311	30分 11,000円 以降30分 11,000円

※費用は、基本的に公的医療保険が適用されない自費診療で、病院によって異なります。

●がんの治療に伴う身体ケア

がんの治療を行うことにより、身体にも様々な変化が起きます。ここでは、がん治療後の身体をケアする方法についてご紹介いたします。

詳細なことは、がん相談支援センターにお尋ねください。

●がんリハビリテーション

能力を維持・向上させ、今までと変わらない生活を取り戻すことを支援することによって、生活の質（QOL：クオリティー・オブ・ライフ）の維持や向上を目的として行われます。がんのリハビリは、がんと診断されたときから、障害の予防や緩和、あるいは能力の回復や維持を目的に、あらゆる状況に応じて対応を行います。

・予防的リハビリテーション

がんと診断され様々な治療が開始される前から行われます
治療に伴い生じるであろう機能障害を予測し、その予防を目的に行われます

・回復的リハビリテーション

治療後に生じた機能や能力の低下を出来るだけ治療前の状態に近づけ日常生活の再獲得を目的として行います
医師の指示のもと治療後の早い段階から行われます

・維持的リハビリテーション

がんの進行に伴い生じる様々な機能や能力の低下に対して、その都度行われます
運動や動作のコツの指導、自助具や福祉用具に関する提案や動作指導が行われます



・緩和的リハビリテーション

ご本人の要望に合わせながら、疼痛や苦痛を緩和すること、動作の工夫によりA D L（日常生活動作）の維持を図ること、マッサージや会話を通して精神的な援助を行うことなどを目的に行われます

●リンパ浮腫ケア

リンパとは、人間の身体をめぐる水分で、心臓から血液として送り出された後、多くは血管の中を流れますが、残りはリンパ液として血管の網目からリンパ管に流れていきます。リンパ液はリンパ節から静脈に戻って心臓に帰っていきます。浮腫（むくみ）はリンパ液が増えることが原因です。リンパ液の流れが悪くて起こるむくみをリンパ浮腫といいます。

リンパ浮腫は生まれつきリンパ管の発達の悪い人や病気や治療でリンパ節が十分に働けない状態で起こります。多くは乳がんや婦人科がんの患者さんに起こります。

予防としては運動療法とスキンケアがあります。むくみが出やすいところを動かすなどして流れをよくします。スキンケアは皮膚が乾燥しないようにローションを使ったりします。浮腫がある場合は、弾性ストッキングを使用したり、リンパマッサージが有効ですが、どちらも専門の外来などに相談したうえで行いましょう。

●アピアランスケア（外見支援）

手術、薬物療法、放射線治療のために、手術の傷あと、脱毛、皮膚の変色、爪の変化など、身体の外見の変化をもたらすものがあり、患者さんにとって大きなストレスになります。

ストレスを軽減するために外見支援が行われています。

例えば、乳がんの治療の後の乳房の再建、脱毛に対するかつらの使用などがあり、専門の外来を設けているところもあります。インターネットやがん相談支援センターなどで詳細な情報を得ることができます。



【コラム2】ヘルプカード知っていますか

内部障がいや難病の方、妊娠初期の方、がん患者など、外見からはわからなくても援助や配慮を必要としていることを知らせるために、熊本県ではヘルプカードを作成し必要としている方に配布しています。



お問い合わせ

熊本県健康福祉部 健康福祉政策課 地域支え合い支援室
096-333-2202

●がんの治療と口腔ケア

がんの治療では、口の中にさまざまなトラブルが高い頻度で現れます。痛みだけでなく、食事や会話を妨げたり、時にはトラブルのため入院が長引いたり、がんの治療自体に影響が出ることもあります。

また、がんの治療によって身体の変化が起き、抵抗力が落ちた状態でさらに食事がきちんと取れないと、体力も低下してしまいます。

このため、熊本県ではがん診療連携拠点病院と歯科医院が連携し、手術、薬物療法、放射線治療の前などに、かかりつけの歯科医院を受診していただき、虫歯がないかやお口の中の傷や感染症がないかをチェックし、安心して治療を受けていただけるようにしています。歯科医院への通院が困難な方のために、ご自宅や施設へ伺うこともできます。

がん診療連携拠点病院と連携している歯科医院については、熊本県歯科医師会のホームページ（<http://www.kuma8020.com/>）で検索できます。



● 「私のカルテ」・「私のノート」・「私の日記」

熊本県では、いつでもどこでも質の高いがん治療を安心して受けていただくために、県内共通のがん診療連携パス「私のカルテ」、患者さんやご家族の治療や療養を手助けするための「私のノート」・「私の日記」を運用しています。

● 「私のカルテ」とは

がん診療連携拠点病院の専門医やかかりつけ医、保険薬局の薬剤師等が情報共有をすることで、患者さんがいつでもどこでも質の高いがん治療を受けられる為にお使いいただくものです。

身体症状等ご自身で記載する欄もありますが、主に医療者が診療の記録をするものです。患者さんが所持し、かかりつけの医療機関や保険薬局等の受診時に提示します。

がん診療連携拠点病院の医師が必要と判断したがん患者さんへ発行しています。



● 「私のノート」とは

主に在宅療養中において、往診や訪問看護等の在宅サービスを利用されている方にお使いいただくものです。患者さんやご家族、病院の医師や看護師、往診医、訪問看護師、ホームヘルパー、ケアマネジャー等が身体症状や日常生活支援に関することを自由に記載し、治療・療養について情報交換する交換日記のようなものです。

がん診療連携拠点病院の医師やかかりつけ医、在宅医等が重い病気の患者さんへ発行しています。



● 「私の日記」とは

患者さんの体調や病気、治療のこと、思い等を自由に記載して使う日記です。医療機関や保険薬局に提示していただくと、患者さんの状況を医療者へ伝え、十分な意思疎通をすることができます。

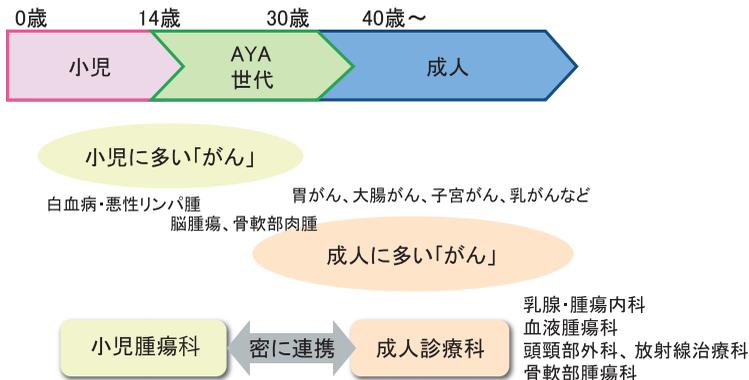
がん診療連携拠点病院等からご希望の患者さんへお渡しすることができます。



詳しくは、熊本県「私のカルテ」がん診療センター
(☎096-373-5764・5763)、がん診療連携拠点病院の
がん相談支援センターにお問い合わせください

4

小児がん・AYA世代のがん・希少がん



出典：国立がん研究センター東病院ホームページより

小児がん

小児がんは、小児がかかる様々ながんの総称です。血液のがんである白血病や悪性リンパ腫を除き、大人では稀なものばかりです。胃がんや肺がんなどは、子どもには見られません。

主な小児がん

白血病	血液のがんです。小児がんのうち約40%を占めます。
脳腫瘍	頭蓋骨の中にできた腫瘍です。白血病に次いで多く、小児がんの約20%を占めます。子どもに多い脳腫瘍はグリオーマ（神経膠腫（しんけいこうしゅ））、胚細胞腫瘍、髄芽腫（ずいがしゅ）などです。
リンパ腫	リンパ節、脾臓、骨髄など、細菌やウイルスの排除などの免疫機能をつかさどるリンパ組織から発生するがんです。リンパ組織は全身に及んでいることから、全身のあらゆる部位に発生する可能性があります。
神経芽腫	交感神経のもとになる細胞から発生する腫瘍です。腎臓の上にある副腎や交感神経節（背骨のわき）などから発生します。
ウィルムス腫瘍（腎芽腫）	子どもの腎臓にできる腫瘍です。胎児期にある程度大きくなり、ほとんどが乳幼児期に発症します。

出典：国立がん研究センター小児がん情報サービスより

専門の医療機関や治療など小児がんに関する情報は、診断された医療機関やがん診療連携拠点病院のがん相談支援センター、国立がん研究センター小児がん情報サービスなどをご利用ください。

また、小児がんに関する医療相談には「小児がん医療相談ホットライン」という電話相談窓口もあります（相談は無料ですが、通話料はかかります）。

小児がん情報サービス <https://ganjoho.jp/child/index.html>

小児がん医療相談ホットライン 03-5494-8159

（平日10：00～16：00）

小児がん拠点病院と連携病院

小児がん患者と家族が安心して医療や支援を受けることができるため「小児がん拠点病院」や「小児がん連携病院」が設置されています。

熊本では、小児がん連携病院が1施設あります。

医療機関名	住所・電話番号
熊本大学病院	熊本市中央区本荘1-1-1 096-373-5676

● 医療費の助成

子どもの病気に関する医療費の助成があります。対象年齢やご負担額などは、お住まいの市町村で異なりますので、詳しくは市町村窓口にお問い合わせください。

また、小児やAYA世代のがんは、18歳まで利用が可能な「小児慢性特定疾病医療費助成制度」が利用できます。引き続き治療が必要な場合は20歳未満まで利用できる場合もあります。

保護者の負担金は、所得により負担上限額が決められます。管轄の保健所（熊本市は各区役所の保健子ども課）において手続きが必要です。

● 病児・病後児保育事業

子どもが病気の際に、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことができない間、病院・保育所等で病気の児童を一時的に保育する制度です。

病児とは、回復期に至らないが、入院治療を必要とせず、当面の症状の急変が認められない子どものことです。病後児とは、病気の回復期であるが、集団保育が困難な子どものことをいいます。お預かりする施設には、保育士、看護師等が配置されています。開設日・開館時間・利用料金・対応可能な症状は、施設によって異なります。また、施設の利用には、事前の登録が必要な場合もあります。

詳しくは、各施設・各実施市町村へお問い合わせください。

病児・病後児保育施設一覧

市町村名	施設名	住 所	電話番号
熊本市	エーネホーム (慈愛園乳児ホーム)	熊本市中央区神水1-14-1 (慈愛園)	096-383-7553
	みるく病児保育センター	熊本市西区野中2-12-26	096-351-8825
	グリム病児保育室	熊本市西区花園5-24-89 (おがた小児科)	096-326-5411
	病児保育みらい	熊本市中央区帯山2-12-10 (にのみやクリニック)	096-381-8766
	病児保育エミー	熊本市北区楠8-16-63 (えがみ小児科)	096-339-0331
	病児保育室いちご	熊本市南区富合町木原1410-1 (雁回まこと保育園)	096-358-1500
	病児・病後児保育ふわっと	熊本市東区桜木1丁目11-7 (こども園ふわわ)	096-367-8030
	病児・病後児保育室 ベビーヘアホーム	熊本市中央区本荘2-3-8 (熊本乳児院)	096-227-6766
八代市	病児・病後児預かり 「キッズルーム」	八代市郡築十二番町71-2 (八代乳児院)	0965-32-0544
	病児・病後児預かり 「キッズケアホーム」	八代市横手新町7-18 谷口ハイツ201	0965-32-0544
	病児病後児ハウス ひかり	八代市新地町1-20-2	0965-33-5391
人吉市	病児・病後児保育施設 あひるハウス ※山江村と共同設置	人吉市五日町44 (増田クリニック)	0966-22-3570
荒尾市	病児保育施設キューピット	荒尾市荒尾4160-256 (こどもクリニック友枝)	0968-65-8181
水俣市	病児・病後児保育もくれん	水俣市平町1丁目3番7号	0966-83-8010
玉名市	ひだまりキッズ	玉名市玉名550番地 (くまもと県北病院敷地内)	0968-72-9001
天草市	一町田保育園	天草市河浦町河浦4850	0969-76-0151
	和貴保育園	天草市栖本町湯船原637-1	0969-66-2117
	やまぐち保育園	天草市本渡町本渡951	0969-23-3396
	ひがしまち保育園	天草市浄南町4-32	0969-23-1925
山鹿市	病後児保育室あすなろ	山鹿市川端町402 (山鹿保育園)	0968-43-1281
	病後児保育室さくらんぼ	山鹿市久原2851-1 (三玉保育園)	0968-41-3008

小児がん・AYA世
代のがん・希少がん

市町村名	施設名	住 所	電話番号
菊池市	病児・病後児保育施設 「カンガルーのポケット」	菊池市北宮308番地1 (菊池みゆきこども園)	0968-25-3602
宇土市	病児・病後児保育施設 「パンダ」	宇土市三拾町264 (宇土地区医師会館)	080-1795-9595
上天草市	病児保育室「ばんぷきん」	上天草市大矢野町登立191 (しまだ小児科内)	0964-56-0005
宇城市	豊福保育園子育て 総合支援センター	宇城市松橋町両仲間字坂ノ下 718番地	0964-33-4500
	白百合病児保育センター	宇城市小川町江頭355番地	0964-43-2072
阿蘇市	病児・病後児保育室 「すずらんルーム」	阿蘇市黒川1266 (阿蘇医療センター内)	0967-34-9026
合志市	病児保育室 「すこやか」	合志市須屋2251-1 (合志市保健福祉センターふれあい館)	096-242-7008
	病児保育室 「陽(ひかり)」	合志市幾久富1909-827 (南ヶ丘福祉支援センター輝き館)	096-242-7008 (窓口は「すこやか」 保育室と同じ)
美里町	病後児保育室あおば	下益城郡美里町萱野1007	0964-46-3709
和水町	病児・病後児保育室 そら	玉名郡和水町板橋2442 (あおば保育園内)	0968-34-2009
大津町	病後児保育施設「ひだまり」	菊池郡大津町大字大津1156-3 (大津町子育て・検診センター)	096-294-9511
菊陽町	病後児保育室こあら	菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北1-6-34 (ふれあい交流福祉支援センター)	096-337-6876
	病児保育室ゆーかり	菊池郡菊陽町大字津久礼868番地5 (菊陽中部クリニック内)	096-237-7785
御船町	御船みるく病児保育室 ※嘉島町・甲佐町と共同設置	上益城郡御船町大字木倉554-2	096-282-2668
益城町	病児・病後児保育室 たんぼぼルーム	上益城郡益城町大字宮園408-1 (はがこどもクリニック)	096-289-7020
山都町	山都みらい保育園内 病後児保育専用スペース	上益城郡山都町城原162番地7	0967-72-1772
氷川町	病児・病後児保育施設 ハグ・くむ	氷川町今151番地1 (八代北部地域医療センター)	0965-53-5121
錦町	錦町病後児保育室おひさま	球磨郡錦町大字一武1643	0966-38-3936
あさぎり町	あさぎりこども園	球磨郡あさぎり町免田西2591	0966-45-3566
多良木町	病児・病後児保育「ホッと館」 ※あさぎり町・湯前町・水上 村との共同設置	球磨郡多良木町大字多良木4210 (球磨郡公立多良木病院)	0966-42-2828

小児がん・AYA世
代のがん・希少がん

AYA世代のがん

思春期・若年期に発生する“がん”を Adolescent and Young Adult, (AYA) 世代のがんと呼びます。がんの治療とともに、進学、就職、結婚、出産等様々な社会的変化を伴う年代であることから、年齢に応じた療養環境や人的サポートが必要です。

● AYA世代のがん患者さんが抱える問題

不安やストレス	病気や治療への不安、治療の副作用・外見の変化に伴うストレス、進路や結婚・出産等将来への不安、晩期合併症についての不安
家族の問題	親子・兄弟姉妹との関係
社会的問題	学校・友人との関係、仕事・職場の問題、経済的な悩み

● 主な相談の内容

がん治療を開始する前に何をすればいいかわからない
妊娠・出産が出来るのか知りたい
がんの生殖医療の専門家に相談したいがどこに行けばいいかわからない

かん治療と妊娠

がんの治療で薬物療法（抗がん剤治療）や放射線療法を行うことがあります。治療の影響で、妊娠のしやすさ（妊よう性・受胎能力）が低下したり、ホルモンバランスの異常や不妊になることがあります。妊娠や出産はAYA世代のがん患者さんにとって心配される問題の一つで、女性・男性としての役割を失う恐怖や人生設計をする上でも困難を感じてしまうことも少なくありません。このような悩みをお一人で抱えず、主治医やがん相談支援センターにご相談ください。

●妊よう性温存について詳しく知りたい方

国立がん研究センター がん情報サービスのホームページで詳しく解説しています。

国立がん研究センター がん情報サービス

「妊よう性 男性患者とその関係者の方へ
～がんの治療と生殖機能の影響について～」



「妊よう性 女性患者とその関係者の方へ
～がんの治療と生殖機能の影響について～」



●妊よう性温存の相談をしたい方

妊よう性を温存する為に、生殖補助技術を用いて、女性では卵子あるいは卵巣組織を、男性では精子をがん治療に先立って凍結保存する、がん・生殖医療の考え方が広まりつつあります。県内においては熊本大学病院「生殖医療・がん連携センター」での相談が可能です。

相談をご希望の場合、受診している医療機関より「生殖医療・がん連携センター」へ連絡し、相談の予約をしてもらいましょう。

注) 患者さんやご家族からの直接の予約はできません。

生殖医療・がん連携センター

相談受付窓口：熊本大学病院 がん相談支援センター

096-373-5676

相談方法：医師による面談

相談料金：30分まで 9,120円（税込）

延長は30分ごとに9,120円加算になります。



小児がん・AYA世
代のがん・希少がん

●妊よう性温存についてのお問い合わせ

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（P.7～8）

希少がん

希少がんとは、年間の発生率が人口10万人当たり6例未満のがんのことです。患者数が少ないことから診断や治療に関する情報も少なく、自分の病気や治療法について知ることが難しい場合があります。

国立がんセンター希少がんセンターではホームページ上で、希少がんに関する情報を公開しています。また、すべての希少がんの患者さんの情報不足を解消し、最適な診断・治療が受けられるお手伝いをするために「希少がんホットライン」という電話相談窓口もあります（相談は無料ですが、通話料はかかります）。

国立がんセンター希少がんセンターホームページ

<http://www.ncc.go.jp/jp/rcc/>

希少がんホットライン 03-3543-5601（平日 8:30~16:00）

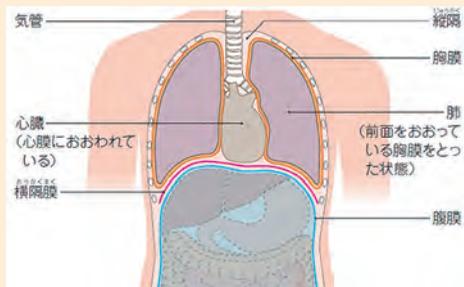
希少がんの種類

領域	がんの種類
脳・脊椎領域	脳腫瘍
眼領域	眼腫瘍
頭頸部領域	聴器がん 口腔がん 腺様嚢胞がん 嗅神経芽細胞腫 頭頸部の肉腫
呼吸器・縦隔領域	悪性胸膜中皮腫 胸腺腫・胸腺がん 胸部の SMARCA4欠損腫瘍 神経内分泌がん 神経内分泌腫瘍 肺神経内分泌腫瘍 胚細胞腫瘍
消化器領域	悪性腹膜中皮腫 肛門がん GIST（消化管間質腫瘍） 小腸がん（十二指腸がん・空腸がん・回腸がん） 神経内分泌がん 神経内分泌腫瘍 膵・消化管神経内分泌腫瘍
肝胆膵領域	神経内分泌がん 神経内分泌腫瘍 膵・消化管神経内分泌腫瘍
内分泌領域	褐色細胞腫 パラグングリオーマ 副腎がん
泌尿器・生殖器領域	子宮の肉腫 神経内分泌がん 神経内分泌腫瘍 膣がん・外陰がん 尿管がん 胚細胞腫瘍 腹膜がん
後腹膜領域	後腹膜の肉腫
皮膚領域	皮膚腫瘍
肉腫	後腹膜の肉腫 骨の肉腫 子宮の肉腫 小児の肉腫 体幹の肉腫 デスモイド腫瘍 頭頸部の肉腫 軟部の肉腫 肉腫（サルコーマ） 胞巣状軟部肉腫 明細胞肉腫（淡明細胞肉腫）
血液・リンパ領域	悪性リンパ腫
原発不明	原発不明がん
小児の腫瘍	小児の血液・リンパのがん 小児の固形悪性腫瘍 小児の肉腫
その他	その他のがんは希少がんホットラインまで

小児がん・AYA世
代のがん・希少がん

【コラム3】中皮腫

肺や心臓などの胸部の臓器や胃腸・肝臓などの腹部の臓器は、胸膜、心膜、腹膜に包まれ、この薄い膜には中皮細胞が並んでいます。この中皮細胞から派生するがんを中皮腫といいます。発生する場所によって、胸膜中皮腫、心膜中皮腫、腹膜中皮腫などがあります。



※国立がん研究センターがん情報サービスホームページより引用

中皮腫は、そのほとんどがアスベスト（石綿）を吸ったことにより発生し、仕事でアスベストを扱った人だけでなく、家族やアスベスト関連の工場周辺のお住まいの方にも発生しています。アスベストを吸ってから中皮腫が発生するまでには25年～50年程度かかるとされています。

全ての中皮腫の治療には公的な補助制度があります。仕事に由来するのか、その他の理由（例：アスベストを取り扱う工場の近所に住んでいたなど）により利用できる制度が変わりますので、主治医に相談し、申請に関しては、がん相談支援センターやかかりつけ医療機関の医療ソーシャルワーカーなどにご相談ください。

【コラム4】ATL（成人T細胞白血病リンパ腫）

成人T細胞白血病リンパ腫（ATL：adult T-cell leukemia-lymphoma）は、HTLV-1というウイルス感染が原因で、白血球の中のT細胞に感染し、がん化した細胞（ATL細胞）が無制限に増殖することで発症します。世界の中でも日本の西南部（九州・沖縄地方）に多い疾患です。

多くの場合リンパ節の腫れがみられます。病変の広がりには全身性で脾臓や肝臓、肺、消化管、中枢神経系に及ぶこともあり、半数以上で皮膚に病変があります。病型は「急性型」「リンパ腫型」「慢性型」「くすぶり型」に分類され、病型によって症状が異なります。

HTLV-1ウイルスに感染しても多くの場合は発症することなく経過し、発症した場合でも感染者のごく一部で、約30～50年間の潜伏期間があります。

感染経路は、母乳による母子感染、輸血、性交による感染です。発症につながる重要な感染経路は母乳による母子感染であるため、熊本県では妊婦検診で抗HTLV-1抗体検査などの検査を行い、母子感染予防の対策が行われています。輸血による感染は、献血のときに抗HTLV-1抗体検査を行い、陽性者の血液を使用しなくなったことから感染することはなくなりました。また、性交による夫婦間の感染は、発症までの潜伏期間が長いため、夫婦間で感染した後に発症したという報告はありません。

成人T細胞白血病リンパ腫、HTLV-1ウイルスに感染についてご不明なことやご心配なことがありましたら、がん相談支援センターやお近くの保健所にご相談ください。

5 緩和ケア

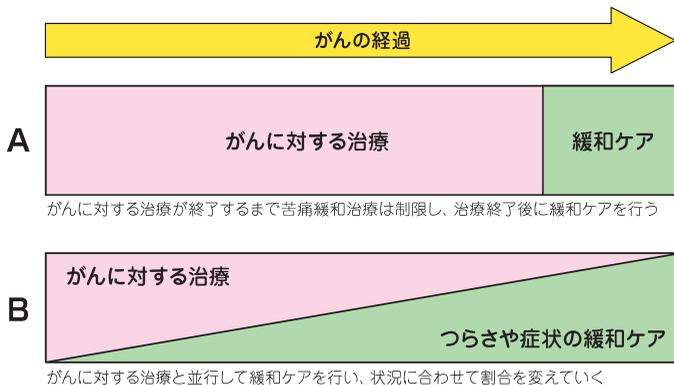
●緩和ケアとは

緩和ケアとは患者さんやその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。

緩和ケアは、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。身体や心などのつらさが大きいと、体力を消耗することにより、がんの治療を続けることが難しくなります。そのため、がんと診断されたときから『つらさをやわらげる＝緩和ケア』を始めることが大切です。

また、早い段階から緩和ケアを受けた場合、生活の質（QOL）が改善され、予後にも良い影響があるという調査報告もあります。

がんの治療と緩和ケアの関係
(A：これまでの考え方 B：新しい考え方)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がんの療養と緩和ケア』

●緩和ケアの『5つの支援』

① あなたのつらさに耳を傾けます

がんという病名、さらには「抗がん剤」など普段は聞き慣れないがん治療の言葉をお聞きになり、本当に動揺されていることと思います。急に重い病名をお聞きになって、お気持ちが動揺するのは当然のことです。その不安や動揺をお聞きし、これからのことや、その中で大切にしていきたいことを一緒に考えていきます。

今どのようなことが心配ですか？
心配なことにチェックしてみてください

【診断について】

- がんという診断は確定なのでしょうか？
- 検査を受ける必要はあるのでしょうか？
- 今後どのような症状が出てくるのでしょうか？
- 治る可能性はどのくらいあるのでしょうか？

【治療にかかる医療費について】

- 治療にはどのくらい医療費がかかるのでしょうか？
- 治療には健康保険が使えるのでしょうか？
- 民間のがん保険で保障される範囲はどこまででしょうか？

【これからの生活について】

- これまでのような生活はできるのでしょうか？
- 日常生活で気をつけることは何があるのでしょうか？
- 会社にはいつ頃復帰できますか？
- 治療中でも仕事はできるのでしょうか？
- 復職後も治療を続けなければならないのでしょうか？

【ご家族について】

- 家族に負担を掛けることはないのでしょうか？
- 子どもがまだ幼いのですが、どのように伝えればよいのでしょうか？
- 私のがんは遺伝的なものなのでしょうか？
- 家族ががんになるリスク(可能性)はあるのでしょうか？

② 必要な情報を提供し、あなたとともに治療を考えます

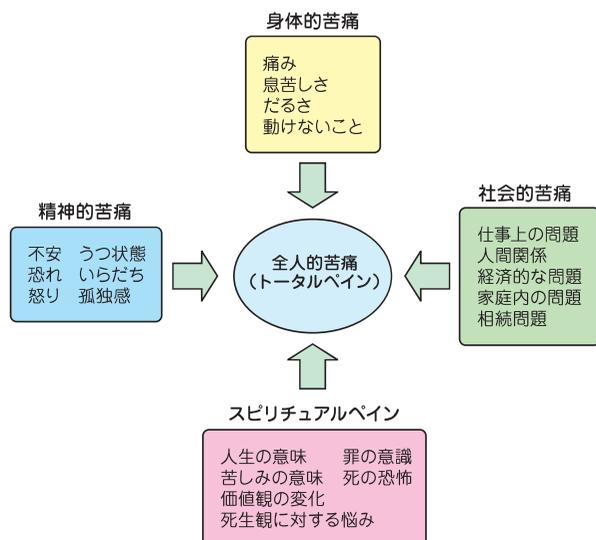
がん治療というと「これまでのような生活や仕事ができなくなるのではないかと心配される方が多くいらっしゃいます。全般的ながん治療についてお話し、今後の治療を決めていくための支援を行います。

③ 身体や心などの様々なつらさをやわらげます

治療の主役は患者さん自身です。つらさや痛みをはじめとする身体と心の状態を、ご自身で把握していただくことが大切です。そして、つらさや痛みをお話していただくことで、症状をやわらげ、意向に沿った療養生活を送れるよう最大限の支援を行うことが可能になります。

つらさや痛みにも様々なものがあります。たとえば身体が「いつから」「どこが」「どのようなときに」「どんなふうに」「どのくらい」痛むのかを具体的にお話ください。

つらさや痛みを伝えたからといって、これからの治療が変更や中止になってしまうことはありません。がん治療とつらさをやわらげる支援の両方を行います。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がんの療養と緩和ケア』

【コラム5】医療用麻薬について

医療用麻薬は大麻や覚せい剤などとは全く別のものです。医療用麻薬は痛みがある状態で医師の管理のもとで適切に使う限り中毒になることはありません。

また、長期間使用しても効果がなくなることはなく、余命に影響がないことも確認されています。主な副作用（便秘、吐き気、眠気）は対処可能です。

●薬の形

- ・飲み薬（錠剤・カプセル・散剤・水剤）・舌下錠・バツカル錠（口腔内で溶ける薬）・貼り薬・坐薬・注射剤

④専門のスタッフが相談させていただきます

様々な専門分野のスタッフが『緩和ケアチーム』として患者さんとご家族を支援します。

- 医師
身体や心の様々な症状をやわらげます
- 看護師
緩和ケアに関する専門的な知識や技能を持つ専門・認定看護師などが支援します
- 管理栄養士
食事の献立や味付けの工夫等の助言などを通じて、食生活に関わる問題に対応します
- カウンセラー（臨床心理士）
がんに伴う心の問題（不安、うつ状態等）について専門的に支援します
- 薬剤師
痛みの症状をやわらげるための薬について助言や指導を行います
- 医療ソーシャルワーカー
生活面や医療費など経済面での問題についてご相談を受けたり、社会的サービスや在宅医療を受ける為の支援を行います
- リハビリ専門職
（理学療法士・作業療法士等）
身体機能を最大限に活用し、安全に生活できるようにするためのリハビリを担当します



⑤ ご希望に沿うように相談させていただきます

がん治療を行っているときや行っていないときでも、患者さんが一番過ごしたい場所で過ごせることは、とても大切なことであると考えています。今後の治療は現在がん治療をおこなっている医療機関だけではなく、近くの診療所や緩和ケアを専門的に行う施設、通院が難しいときに訪問診療や往診をしてくれる医師や自宅訪問してくれる看護師（訪問看護）とも協力していくことが可能です。そのための情報提供やご相談をさせていただきます。

入院	一般病棟へ入院し、がんの治療を受けながら、担当医や緩和ケアチームのケアを受けることができます
通院 (緩和ケア外来)	緩和ケア外来に通院し、緩和ケアを受けることができます。薬物療法や放射線治療などの通院治療中に外来で緩和ケアを受けることもできます 施設によってはその施設にがん治療で通院していなくても、緩和ケア外来を受けられる場合もあります
自宅・施設	医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士等が訪問し、症状を緩和する為の治療やケアを行います 住み慣れた場所で、自分のペースで日常生活を送ることができ、一人暮らしの方も利用できます 地域の医療機関や訪問看護ステーション、調剤薬局などが連携して支援します 通院治療中や治療と治療の間の療養期間中にかかりつけ医から受けることもできます
緩和ケア病棟・病床	身体や心などの様々なつらさ・苦痛をできる限りやわらげる治療やケアを専門的に提供する施設です 緩和ケアを行い、在宅生活への円滑な移行を支援する役割も担っています 入院できる患者さんは悪性腫瘍および後天性免疫不全症候群の方となっています

● 熊本県内の緩和ケア病床と緩和ケア病棟

	医療機関	病床数	相談窓口	住所	電話番号
緩和ケア病床	熊本大学病院	緊急病床 1床	緩和ケア センター	熊本市中央区本荘 1-1-1	096-373-5637
緩和ケア病棟	熊本地域医療 センター	14床	地域医療 連携室	熊本市中央区本荘 5-16-10	096-363-3311
	桜十字熊本東病院	18床	地域連携室	熊本市東区三郎 1-12-25	096-383-5555
	鶴田病院	20床	地域連携・相 談支援センター	熊本市東区保田窪 本町10-112	096-382-0500
	イエズスの 聖心病院	37床	地域連携室	熊本市西区上熊本 2-11-24	096-352-7181
	朝日野総合病院	25床	地域医療 連携室	熊本市北区室園町 12-10	096-344-3000
	御幸病院	20床	地域医療 連携室	熊本市南区御幸笛田 6-7-40	096-378-1166
	桜十字病院	25床	地域連携室	熊本市南区御幸木部 1-1-1	096-378-1111
	くまもと森都 総合病院	15床	地域医療 連携室	熊本市中央区大江 3-2-65	096-364-6000
	大腸肛門病センター 高野病院	20床	医療福祉課	熊本市中央区大江 3-2-55	096-320-6500
	熊本第一病院	13床	地域連携室	熊本市南区田迎町 田井島224	096-370-7333
	人吉医療センター	30床	相談支援 センター	人吉市老神町35	0966-22-2191
	阿蘇温泉病院	14床	医療福祉 相談室	阿蘇市内牧1153-1	0967-32-5250
	山鹿市民 医療センター	13床	がん相談支 援センター	山鹿市山鹿511	0968-44-2185
	合志第一病院	26床	地域連携室	合志市御代志812-2	096-242-2745
	熊本南病院	16床	地域医療 連携室	宇城市松橋町豊福 2338	0964-32-0826
多良木病院	10床	医療社会 事業課	球磨郡多良木町大字 多良木4210	0966-42-2665	

* 緩和ケア病棟は『緩和ケア病棟入院料の施設基準』を満たした病棟です

6 在宅療養支援

医療は受ける場所によって ①外来診療 ②入院医療 ③在宅医療の3つに分かれます。

●在宅医療

在宅医療の大きなメリットは、住み慣れた自宅や地域で安心して自分らしい生活を送りながら医療を受けられることです。

がんの在宅医療は、訪問診療と往診、訪問看護の組み合わせによって、かなりの領域の対応ができます。また、がん医療は、外科療法・放射線療法・化学療法・緩和ケアに大別できますが、在宅医療の場合には、専門的かつ本格的な疼痛管理や緩和ケアが受けられます。痛みのある場合には、在宅で医療用麻薬（モルヒネ等）や鎮痛剤を使用した鎮痛療法も行われます。在宅で医療用麻薬を使用している方に対しては、薬剤師が訪問し、その服薬や保管の状況を確認し、指導していきます。

病状次第では、40歳以上であれば介護保険制度も活用でき、医療と介護が連携して在宅での療養生活を支える仕組みがあります。地域によって体制が異なる場合がありますので、下記の相談窓口へご相談ください。

●相談窓口

かかりつけ医療機関の地域医療連携室、がん相談支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、市町村

*『熊本県緩和ケアMAP』

県内の対応医療機関を調べることができます。

URL : <http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/cmc/zkmap/data/>

【コラム6】訪問診療と往診

訪問診療とは、あらかじめ医師が診療計画を立て、患者さんの同意を得て定期的に自宅等を訪問し、診療を行います。

往診とは、突発的な病状の変化などに対して医師が患者さんの求めに応じ、自宅等を訪問し診療を行うことをいいます。

●在宅療養を支援する施設や職種

〔地域包括支援センター〕

在宅療養に関するさまざまな制度の利用や福祉の相談に応じます。

〔がん相談支援センター〕

あなたの治療と療養におけるさまざまな相談に応じます。

〔市区町村の窓口〕

役所の窓口で、医療や介護における、さまざまな助成制度などの申請や相談に応じます。

ホームヘルパー

訪問して、日常生活の介護や買い物、掃除などの家事の援助を行います。

地域包括支援センター

介護予防を含め、在宅療養などに関するさまざまな制度の利用や福祉の相談や支援を行っています。

ケアマネジャー

自宅療養でどんな支援を受けられるか、一緒に考えて計画を立てます（介護保険の対象者のみ）。



理学療法士 作業療法士

日常生活を送る上での基本的な動作の回復や機能低下の予防を図ります。

歯科医・歯科衛生士

歯や口のケアなどの相談に乗ります。

担当医(病院)

治療や体の状態のことで、何か異変などがあったときに対応します。

在宅医 (在宅療養支援診療所 などの診療所)

定期的に訪問診療し、緊急時などに対応します。また専門的な治療を行った病院の担当医と連携し、必要に応じて再入院の手配などもします。

訪問看護師

在宅医との連携のもと、療養の世話や医療処置や症状の確認などを行います。

薬剤師

薬の説明をしたり、使用方法・副作用に関する相談に対応します。

出典：「おかえりなさい」プロジェクト事務所「あなたの家にかえろう」

● 在宅療養支援診療所

在宅療養支援診療所とは、患者さんの在宅療養を支える診療所です。患者さんや家族からの連絡に365日24時間体制で応じ、必要な場合には訪問診療（往診）を行い、ほかの医療機関や訪問看護ステーション、さらにはケアマネジャーとも連携をとりながら、患者さんが安心して療養生活を送ることができる態勢を整えます。また状態が急変したときには病院医師と連携し、治療法の相談や再入院の手配を行います。

● 訪問看護ステーション

通院や外出が困難な患者さんのために、看護師が自宅を訪問して、医師の指導に基づく診療の補助や、患者さんの健康管理や相談などを行うサービスを「訪問看護」といいます。この訪問看護を提供する施設を「訪問看護ステーション」といいます。

訪問看護では、血圧や体温などから患者さんの健康状態をチェックしたり、痰（たん）の吸引や褥瘡（じょくそう：床ずれ）の処置といった医療的処置、医療機器の管理や療養上の世話（入浴介助、体の清拭〔せいしき：体を拭くこと〕など）などを行います。希望される際は、地域のかかりつけ医やがん相談支援センターに相談してみましょう。

訪問看護は、介護保険や医療保険により利用する事ができます。利用者はサービス料金の一部が自己負担となります。

●介護保険

在宅の療養時には、介護が必要になったり、ベッドや車いすなどの福祉用具が必要になることがあります。病気や加齢などで介護を必要とする状態となっても尊厳を保持し、できる限り自立した日常生活を過ごしていただけるよう必要なサービスを提供する制度です。

●対象者

65歳以上の方

介護が必要となった原因を問わず、給付対象です。

40歳～65歳未満の方

16の特定疾病に該当し、介護を必要とする場合です。

*がんと診断された患者さんは状態により介護保険の利用が可能です。

●サービスの利用料

ケアプランに基づいて介護（介護予防）サービスを利用した場合、原則としてサービス費用の1割～3割が利用者負担になります。

●相談窓口

お住まいの自治体の介護保険担当課、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関の医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等

【コラム7】介護タクシーと福祉タクシー

介護タクシーは、介護保険（要介護1以上の方）で利用できます。利用目的は通院や行政手続きなど制限があります。利用するためにはケアマネジャーへ相談が必要です。

福祉タクシーは介護保険を利用しません。通院や外食などの外出、デパートへの買い物等にも利用できます。利用される際は各福祉タクシーの事業所への連絡が必要です。

介護サービス一覧

居宅サービス	自宅で利用	訪問介護 (ホームヘルプ)	訪問介護員（ヘルパー）が自宅等へ訪問し、調理・洗濯・掃除等の生活援助や入浴・排せつ・食事等の身体介護を行う 通院等を目的とした介護タクシーも利用できる
		訪問入浴介護	移動入浴車等が自宅等を訪問し、入浴サービスを提供する
		訪問看護	看護師等が自宅等へ訪問し看護ケアを提供し、療養生活を支援する(詳しくは『6 在宅療養 訪問看護ステーション』(P. 58)参照)
		訪問リハビリテーション	理学療法士や作業療法士等が自宅等を訪問し、理学療法、作業療法等のリハビリ等を提供する
		居宅療養管理指導	医師や歯科医師が自宅等を訪問し療養上の管理や指導を提供する 医師や歯科医師の指示により、薬剤師や管理栄養士、歯科衛生士等が自宅を訪問し、管理や指導を提供する
	自宅から出かけて利用	通所介護 (デイサービス)	事業所へ通い、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練等を受けることができる
		通所リハビリテーション	病院や診療所、介護老人保健施設へ通い、理学療法、作業療法等のリハビリを受けることができる
		短期入所生活介護	介護老人福祉施設等へ短期間入所し、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練等を受けることができる
		短期入所療養介護	介護老人保健施設等へ短期間入所し、看護、医学的管理下での介護、機能訓練その他必要な医療等を受けることができる
		特定施設入居者生活介護	指定を受けた有料老人ホーム等に入居して、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練などを受けることができる

地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、短時間の定期的な巡回や利用者等からの通報を受けて随時、介護や看護を提供する
	夜間対応型訪問介護	夜間にヘルパーが自宅等を訪問し、入浴・排せつの介護等を行う
	地域密着型通所介護	おおむね定員18名以下の小規模な通所介護（デイサービス）
	小規模多機能型居宅介護	状態や希望に応じて『訪問』『通い』『泊まり』を組合せ、入浴・排せつの介護など日常生活上の支援や機能訓練等を提供する

地域密着型サービス	看護小規模多機能型 居宅介護	小規模多機能型居宅介護のサービスに加えて、訪問看護を提供
	認知症対応型通所介護	認知症の利用者が事業所へ通い、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練等を受けることができる
	認知症対応型共同生活 介護（グループホーム）	認知症の利用者が入居して、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練等を受けることができる
	地域密着型 特定施設入居者生活介護	定員29名以下の、指定を受けた有料老人ホーム等
	地域密着型介護老人福 祉施設入所者生活介護 （特別養護老人ホーム）	常に介護が必要で自宅では介護が困難な方が入所して、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練などを受けることができる施設（定員29名以下）

施設サービス	介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	常に介護が必要で自宅では介護が困難な方が入所して、入浴・排せつ・食事の介護など日常生活上の支援や機能訓練などを受けることができる施設（定員30名以上）
	介護老人保健施設	病状が安定しリハビリ等に重点を置いた方が入所して、看護、医学的管理下での介護、機能訓練等の必要な医療、日常生活上の支援を受けながら、在宅復帰を目指す施設
	介護医療院	主に長期にわたり療養が必要な方が対象の施設 医療と介護（日常生活上の世話）が一体的に受けられる
	介護療養型医療施設 （介護療養病床）	病状が安定し長期療養を必要とする方が入所して、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練等の必要な医療を受けることができる医療施設（今後、廃止が予定されている）

*各々の施設で入所基準は異なります

生活環境を整えるサービス	福祉用具貸与	日常生活の自立支援を目的として、福祉用具の選定・取付け・調整等を行い、貸与するサービス
	特定福祉用具販売	指定された事業者から特定の福祉用具を購入したときに、年間10万円を上限に費用が支給される（事前の申請が必要）
	住宅改修費支給	日常生活の自立支援を目的として、手すりの取付けなど所定の住宅改修をしたときに、20万円を上限に費用が支給される（事前の申請が必要）

●障害者総合支援法

身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病等の障がいの種別にかかわらず、一元的に提供されるサービスです。

がんの治療により、身体障害者手帳の交付対象となる場合があります。

身体障害者手帳の交付対象疾患例

疾患	状態
頭頸部がん (鼻、口、のど、あご、 耳などの部分にできる がん)	喉頭部摘出により声を出すことができなくな った場合、腫瘍切除等による顎、口腔、 咽頭喉頭の欠損により経口摂取ができない 場合など
肺がん	呼吸機能が低下し、在宅酸素療法が必要と なった場合など
直腸がん等	人工肛門（ストーマ）を造設された場合な ど
膀胱がん 腎臓がん等	回腸導管造設術などストーマ造設された場 合など
骨肉腫	四肢の切断を行った場合など

※身体障害者手帳の交付申請手順については P.80をご参照下さい

【コラム8】共生型サービスについて

一つの事業所で、介護保険と障害福祉サービスを一体的に提供
する取り組みです。障がい福祉事業所の指定を受けていれば、介
護保険事業所の指定も受けやすくなります。

(逆の場合も同じ)

提供される福祉サービスの内容

自立支援給付	介護給付	居宅介護	自宅で入浴や排泄の介護等を行う
		重度訪問介護	重度の肢体不自由者で常に介護を要する方に自宅で介護や移動支援などを総合的に行う
		同行援護	視覚障害により移動に著しい困難を有する人に外出支援を行う
		行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに危険を回避する為に必要な支援、外出支援を行う
		重度障がい者等包括支援	介護の必要性がとても高い人に居宅介護等サービスを包括的に行う
		短期入所(ショートステイ)	介護者が病気の場合等に短期間、夜間も含めて施設で介護等を行う
		療養介護	医療と常時介護を必要とする人に医療機関での機能訓練、療養上の管理・看護・介護及び日常生活の世話を行う
		生活介護	常に介護を要する人に昼間、入浴・排泄・食事の介護を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供する
		施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日入浴・排泄・食事の介護等を行う
	訓練等給付	自立訓練	自立した日常生活又は社会生活ができるよう一定期間身体機能又は生活能力向上のために必要な訓練を行う
就労移行支援		一般企業等での就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行う	

自立支援給付	訓練等給付	就労継続支援	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに知識及び能力向上のために必要な訓練を行う
		共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う
相談支援事業	障がい福祉サービスの利用に関する相談や、サービス事業者等との連絡調整などを行う 【事業】計画相談支援、地域相談支援、障がい児相談支援		
地域生活支援事業	能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう市町村を中心に地域で生活する障がいのある人のニーズを踏まえ、地域の実情に応じた取組みを行う 【事業】相談支援事業、日常生活用具給付等事業等 (例) 日常生活用具の給付申請を行うことで、喉頭摘出された場合人工喉頭、ストーマ造設された場合ストーマ用品等の給付を、受けることができる		
	移動支援	円滑に外出できるよう移動を支援	
	地域活動支援センター	創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う施設	
	福祉ホーム	住居を必要としている人に低額な料金で、居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行う	
自立支援医療	心身の障がいを除去、軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療（更生医療、育成医療、精神通院医療）		
補装具	障がい者等の身体機能を補完し、又は代替し、かつ長期的にわたり継続して使用されるもの等（義肢、装具、車いす等） (例) 骨肉腫による四肢切断等を行った場合、義肢や車いすなどが支給されることがある		

●相談窓口

がん相談支援センター、かかりつけ医療機関の医療ソーシャルワーカー、お住まいの自治体の障がい福祉担当課

●自治体の任意事業

介護保険や障害者総合支援法によるサービスの利用は年齢や身体の状態、疾患等により制限があります。

自治体によっては家事援助事業や緊急通報システム等の提供を任意で取り組んでいる自治体があります。実施している事業内容は各自治体によって異なりますので、詳しくはお住まいの各自治体へお問い合わせください。

また、各市町村には地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者の保健医療の向上と福祉の増進を総合的に支援することを目的に地域包括支援センターが設置されています。

自治体介護保険・高齢者福祉担当課、地域包括支援センター一覧

自治体	介護保険担当課	地域包括支援センター	
1 熊本市	介護保険課 (高齢福祉課)	096-328-2347 (096-328-2963)	熊本市高齢者支援センターささえりあ 熊本中央 096-319-0222
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 本荘 096-221-3242
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 子飼 096-243-2233
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 白川 096-211-6011
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 水前寺 096-362-0065
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 帯山 096-241-0230
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 尾ノ上 096-331-6355
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 保田窪 096-387-8201
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 託麻 096-282-8249
			熊本市高齢者支援センターささえりあ 江津湖 096-214-6888
	熊本市高齢者支援センターささえりあ あさひば 096-360-5550		

	自治体	介護保険担当課	地域包括支援センター	
1	熊本市	介護保険課 (高齢福祉課)	096-328-2347 (096-328-2963)	熊本市高齢者支援センターささえりあ 三和 096-329-6743
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 井芹 096-311-5311
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 花陵 096-247-6030
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 金峰 096-277-2588
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 熊本西 096-329-2016
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 富合 096-358-5556
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 幸田 096-370-5055
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 熊本南 096-358-7222
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 飽田 096-227-1695
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 天明 096-223-2660
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 城南 0964-28-1131
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 植木 096-272-6914
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 北部 096-275-6355
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 清水・高平 096-343-0170
				熊本市高齢者支援センターささえりあ 新地 096-288-4800
熊本市高齢者支援センターささえりあ 武蔵塚 096-339-8130				
2	八代市	長寿支援課	0965-33-4145	八代市第1地域包括支援センターふるさと 地区：鏡・東陽・泉 0965-53-2601
				八代市第2地域包括支援センターやまびこ 地区：太田郷・昭和・龍峯・千丁 0965-30-8071
				八代市第3地域包括支援センターだいち 地区：松高・八千把 0965-45-5568
				八代市第4地域包括支援センターしおかぜ 地区：代陽・八代・麦島・郡築 0965-37-3337

	自治体	介護保険担当課		地域包括支援センター
2	八代市	長寿支援課	0965-33-4145	八代市第5地域包括支援センターくまがわ 地区：植柳・高田・金剛・宮地 0965-35-1111 八代市第6地域包括支援センターおれんじ 地区：日奈久・二見・坂本 0965-38-3373
3	人吉市	高齢者支援課	0966-22-2113	0966-24-9193
4	荒尾市	保険介護課 (福祉課)	0968-63-1418 (0968-63-1406)	0968-63-1177
5	水俣市	いきいき健康課	0966-63-3051	0966-62-3030
6	玉名市	高齢介護課	0968-75-1339	0968-71-0285
7	山鹿市	長寿支援課	0968-43-1180	0968-43-1077
8	菊池市	高齢支援課	0968-25-7215	0968-25-7216
9	宇土市	高齢者支援課	0964-22-1111	0964-24-1555
10	上天草市	高齢者ふれあい課	0969-28-3360	0969-28-3378
11	宇城市	高齢介護課	0964-32-1406	0964-25-2015
12	阿蘇市	ほけん課 (福祉課)	0967-22-3145 (0967-22-3167)	0967-32-5122
13	合志市	高齢者支援課	096-248-1102	096-248-1126
14	天草市	高齢者支援課	代表 0969-23-1111 直通 0969-24-8806	天草東地域包括支援センターあじさい 地区：本渡東・有明・御所浦・倉岳・栖本 0969-66-2266
				天草牛深地域包括支援センターすいせん 地区：牛深東・牛深西・牛深南・天草町大江向 0969-72-1133
				天草西地域包括支援センターさざんか 地区：天草（一部大江向を除く）・河浦 0969-76-1611
				天草南地域包括支援センターうぐいす 地区：本渡綾南・新和 0969-24-4115
				天草北地域包括支援センターきずな 地区：佐伊津町・旭町・五和町 0969-32-2115
				天草中央地域包括支援センターなでしこ 地区：本渡北（佐伊津・旭町を除く）・本渡南・本町 0969-66-9300
15	美里町	福祉課	0964-47-1116	0964-47-7005
16	玉東町	保健介護課 (町民福祉課)	0968-85-6557 (0968-85-3183)	0968-85-6242
17	和水町	健康福祉課	0968-86-5724	0968-86-5724
18	南関町	福祉課	0968-57-8591 (0968-57-8503)	0968-69-9760

	自治体	介護保険担当課		地域包括支援センター
19	長洲町	福祉保健介護課	0968-78-3144 (0968-78-3135)	0968-78-3114
20	大津町	介護保険課	096-293-3511	096-292-0770
21	菊陽町	介護保険課	096-232-2508	096-232-2366
22	南小国町	福祉課	0967-42-1117	0967-25-6877
23	小国町	福祉課	0967-46-2116	0967-46-2116
24	産山村	健康福祉課	0967-25-2212	0967-25-2212
25	高森町	健康推進課	0967-62-2910	0967-62-2055
26	南阿蘇村	健康推進課	0967-67-2704	南阿蘇村久木野包括支援センター 地区：久木野、白水 0967-67-3099 南阿蘇村長陽包括支援センター 地区：長陽 0967-65-8456
27	西原村	保健衛生課 (住民福祉課)	096-279-4389 (096-279-3113)	096-279-4111
28	御船町	福祉課	096-282-1349 (096-282-1342)	096-282-2911
29	嘉島町	町民課	096-237-2574 (096-237-2576)	096-237-2981
30	益城町	福祉課	096-286-3114	益城町東部圏域地域包括支援センター (こころねっと 東部) 096-289-0099 益城町西部圏域地域包括支援センター (こころねっと 西部) 096-285-4822
31	甲佐町	福祉課	096-234-1114	096-234-1114
32	山都町	福祉課	0967-72-1229	0967-72-1677
33	氷川町	福祉課	0965-52-5852	0965-62-3456
34	芦北町	福祉課	0966-82-2511	0966-86-2270
35	津奈木町	ほけん福祉課	0966-78-3115	0966-78-5333
36	錦町	健康保険課	0966-38-1113	0966-38-4020
37	あさぎり町	高齢福祉課	0966-45-7215	0966-45-7231
38	多良木町	健康・保険課	0966-42-1255	上球磨地区地域包括支援センター 地区：多良木町・湯前町・水上村 0966-42-6006
39	湯前町	保健福祉課	0966-43-4112	
40	水上村	保健福祉課	0966-44-0313	
41	相良村	保健福祉課	0966-35-1032	0966-35-1144
42	五木村	保健福祉課	0966-37-2214	0966-37-2214
43	山江村	健康福祉課	0966-23-3978	0966-23-2232
44	球磨村	住民福祉課	0966-32-1112	0966-32-1112
45	苓北町	福祉保健課	0969-35-1111	0969-35-1289

●ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターとは保育所・幼稚園などの送迎や、保護者が病気や自分の都合などでお子さんの育児ができないときに育児の支援を行う「提供会員」と育児の支援を受けたい「依頼会員」で構成し、子育てを地域で相互援助する会員制の活動です。

治療や受診の際に利用できる可能性があります。

事前登録が必要となりますので、お住まいの市町村の各センターへお問い合わせください。

	名 称	場 所	電話番号
熊本市	ファミリー・サポート・センター〈熊本〉	男女共同参画センター はあもにいな	096-345-3011
八代市	八代市ファミリー・サポート・センター	八代市役所 子ども未来課内	0965-33-8721
人吉市	ファミリー・サポート・センターひとよし	人吉市社会福祉協議会	0966-24-9192
荒尾市	荒尾市ファミリー・サポート・センター「さくらんぼ」	桜山保育園内	0968-68-0055
水俣市	水俣市ファミリー・サポート・センター	社会福祉法人光明童園内	0966-63-2074
玉名市	たまなファミリー・サポート・センター	玉名市福祉センター内	0968-73-1151
天草市	天草市ファミリー・サポート・センター	天草市社会福祉協議会	0969-32-2552
山鹿市	やまがファミリー・サポート・センター	山鹿健康福祉センター内	0968-44-8800
菊池市	菊池市子育てサポートセンター	菊池市福社会館内	0968-25-5000
宇土市	宇土市ファミリー・サポート・センター	宇土市児童センター内	0964-23-3303
上天草市	上天草市ファミリー・サポート・センター	上天草市社会福祉協議会 (本所)	0969-56-2455

	名称	場所	電話番号
宇城市	宇城市ファミリー・サポート・センター	宇城市社会福祉協議会 (宇城市保健福祉センター内)	0964-27-5353
阿蘇市	阿蘇市ファミリー・サポート・センター	阿蘇市社会福祉協議会	0967-32-1127
合志市	合志市ファミリー・サポート・センター	合志市保健福祉センター ふれあい館内	096-242-7008
玉東町	玉東町ファミリー・サポート・センター	玉東町社会福祉協議会	0968-85-3150
南関町	なんかんファミリー・サポート・センター	南関町社会福祉協議会	0968-69-9020
長洲町	長洲町ファミリー・サポート・センター	長洲町ふれあい センター内	0968-78-4100
和水町	和水町ファミリー・サポート・センター	和水町社会福祉協議会	0968-34-2366
大津町	大津町子育てサポート センター「ほほえみ」	大津町子育て ・健診センター内	096-294-9511
菊陽町	菊陽町ファミリー・サポート・センター	菊陽町ふれあい交流・ 福祉支援センター内	096-337-6830
南小国町	子育て応援団 ぽっかぽ家	南小国町社会福祉協議会	0967-42-1501
南阿蘇村	南阿蘇村ファミリー・サポート・センター	南阿蘇村社会福祉協議会	0967-67-0294
西原村	西原村子育てサポート センター・のぎく	西原村地域福祉センター のぎく荘内	096-279-4141
御船町	御船町子育てサポート センター	御船町 子育てふれあい館内	096-282-6009
嘉島町	嘉島町ファミリー・サポート・センター	嘉島町 子育て支援センター内	096-237-5559
益城町	益城町ファミリー・サポート・センター	益城町役場仮設庁舎 会議室棟1階	096-289-1631
甲佐町	甲佐町ファミリー・サポート・センター	甲佐町町民センター 児童館	090-1513-5328
山都町	山都町ファミリー・サポート・センター	山都町子育て 支援センター内	0967-72-1928
あさぎり町	あさぎり町ファミリー・サポート・センター	あさぎり町 社会福祉協議会	0966-47-2111

●ひとり親家庭等の日常生活支援事業

ひとり親家庭等の方々が、一時的な用件で子育て等ができない時に、家庭生活支援員を派遣し、家事、子育てのお手伝いを受けることができる事業です。

詳しくは、お住まいの各市町村にお問い合わせください。



7

がんの治療や生活を支える制度

●医療費の負担を軽くする制度

日本では、公的医療保険制度があり、保険と年齢に応じて診療費の自己負担は1割～3割となっています。

高額療養費制度

入院・手術・抗がん剤治療などで高額な医療費がかかりそうなときは、治療を受ける前に、加入している公的医療保険で「限度額適用認定証」をもらい、病院に提出すると支払い額を限度額までに抑えることができます。限度額適用認定証をもらわずに治療を受けた場合には、医療機関から請求される医療費を一度支払った後、保険者に申請することで自己負担限度額を超えた分が支給されます。



※70歳未満の場合

70歳未満の場合

区分	所得状況	月単位の上限額	12ヶ月の間で 4回目の月以降
ア	年収約1,160万円以上 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円＋ (医療費－842,000円)×1%	140,100円
イ	年収約770～1,160万円 健保：標準報酬月額53～79万円 国保：旧ただし書き所得600～901万円	167,400円＋ (医療費－558,000円)×1%	93,000円
ウ	年収約370～770万円 健保：標準報酬月額28～50万円 国保：旧ただし書き所得210～600万円	80,100円＋ (医療費－267,000円)×1%	44,400円
エ	年収約370万円以下 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円	44,400円
オ	低所得（住民税非課税）	35,400円	24,600円

高齢受給者（70歳～74歳）・後期高齢者（75歳以上）

区分	外来＋入院（世帯）		多数回※1	1食あたりの 標準負担額	
	外来（個人ごと）				
現役並み所得	Ⅲ 年収約1,160万円～	252,600円＋ [医療費－842,000円]×1%	140,100円	460円	
	Ⅱ 年収約770万～1,160万円	167,400円＋ [医療費－558,000円]×1%	93,000円	460円	
	Ⅰ 年収約370万～770万円	80,100円＋ [医療費－267,000円]×1%	44,400円	460円	
一般	年収約156万～370万円	18,000円 (年間上限 14万4,000円)	57,600円	44,400円	460円
低所得	Ⅱ 住民税非課税世帯		24,600円	/	210円※2
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)	8,000円	15,000円		100円

現役並み所得Ⅰ・Ⅱ、低所得Ⅰ・Ⅱの方は**限度額適用認定証**の申請対象です。

※1 過去12ヶ月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。

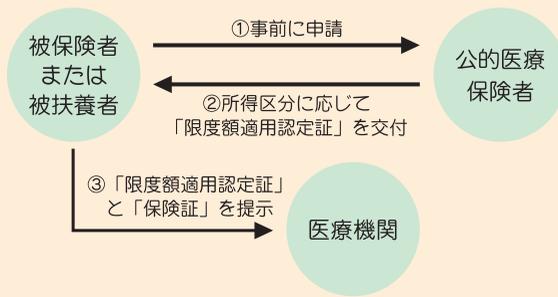
※2 過去12ヶ月以内に91日以上入院となる場合は、申請することで210円から160円に減額となります。

【コラム9】 限度額適用認定証を申請しましょう

70歳未満の方、70歳以上の現役並み所得Ⅰ・Ⅱ、低所得Ⅰ・Ⅱの方は、限度額適用認定証を申請することで、医療費の窓口負担を限度額までに抑えることができます。入院・外来で高額な医療費がかかりそうなときは、事前に申請しましょう。

加入中の医療保険が申請窓口となります。

限度額適用認定証申請の流れ



● 高額療養費制度のポイント（70歳未満の方の場合）

- ・ 限度額適用認定証は申請した日の月初めの1日から有効です
- ・ 1日～月末の月ごとの計算です（食事や部屋代などは含みません）
- ・ 同じ医療機関ごとで計算します
- ・ 同じ病院でもひと月に外来通院と入院があった場合は別々に計算します
- ・ 違う医療機関でも同じ月に21,000円以上の診療費を2件以上支払った場合、それらを合算して自己負担限度額を超えた分が、申請によりあとから支給されます

※一部の市町村では、経済的な理由等がある方で、同じ月内に医療機関や調剤薬局で自己負担限度額に達した場合、限度額を超えた分について支払いを委任できることがあります。詳しくは、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

高額介護・高額介護予防サービス費

介護費の月々の自己負担が過重なものとならないよう、介護費の月々の自己負担に一定の上限を設ける仕組みです。最終的な自己負担額となる毎月の負担の上限額は利用者の所得水準によって定められており、それを超えた金額が支給されます。

所得段階	所得	区分上限額
第1段階	①生活保護の被保護者 ②15,000円への減額により生活保護の被保護者とならない場合 ③市町村民税非課税の老人福祉年金受給者	①個人15,000円 ②世帯15,000円 ③世帯24,600円 個人15,000円
第2段階	市町村民税世帯非課税で（公的年金収入金額＋合計所得金額）が80万円以下	世帯24,600円 個人15,000円
第3段階	市町村民税世帯非課税24,600円への減額により生活保護の被保護者とならない場合	世帯24,600円
第4段階	第1～3段階及び第5段階に該当しない者	世帯44,400円 ※ただし、1割負担者のみの世帯については3年間の時限措置として年間上限額446,400円
第5段階	世帯内に課税所得が145万円以上の第1号被保険者がおり、かつ、世帯内の第1号被保険者の収入が合計520万円（第1号被保険者が一人のみの場合は383万円）以上である場合	世帯44,400円

なお、支給対象となる自己負担額には①福祉用具購入費及び住宅改修費の定率負担、②区分支給限度基準額を超えて利用した分、③食費、居住費（滞在費）、日常生活費を含みません。

自治体ごとに異なりますが、一般的には、市町村の介護保険担当において、高額介護サービス費が算定された対象者に申請書を郵送し、初回申請がなされれば二回目以降は申請手続不要とする等の配慮がなされています。

高額介護合算療養費制度

医療の「高額療養費制度」と介護の「高額介護・高額介護予防サービス費」の両方を利用した方で、2つを合わせた総額が、毎年8月1日からの一年間で一定額（下記表を参考）を超えた場合、申請によりあとから支給されます。



70歳未満の場合

区分	所得状況	医療保険+介護保険 (70歳未満)
ア	年収約1,160万円以上 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	212万円
イ	年収約770～1,160万円 健保：標準報酬月額53～79万円 国保：旧ただし書き所得600～901万円	141万円
ウ	年収約370～770万円 健保：標準報酬月額28～50万円 国保：旧ただし書き所得210～600万円	67万円
エ	年収約370万円以下 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	60万円
オ	低所得（住民税非課税）	34万円

高齢受給者（70歳～74歳）・後期高齢者（75歳以上）

区分		後期高齢者医療+ 介護保険	医療保険+介護保険 (70歳以上)
現役並み所得	Ⅲ 年収約1,160万円～	67万円	212万円
	Ⅱ 年収約770万円～1,160万円		141万円
	Ⅰ 年収約370万円～770万円		67万円
一般	年収約156万円～370万円	56万円	56万円
低所得	Ⅱ 住民税非課税世帯	31万円	31万円
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)	19万円（※）	19万円（※）

1年間での上限額（8月1日から翌7月末まで）

※70歳以上の低所得Ⅰの世帯で介護（予防）サービスの利用者が複数いる場合、医療保険からの支給は、自己負担限度額19万円、介護保険からの支給は31万円で計算されます。

高額療養費貸付制度

高額療養費貸付制度は、窓口で事前に請求額を支払うのが困難な人に対し、高額療養費として償還される金額の一部を無利子で貸付を受けることができる制度です。1ヶ月の医療費の自己負担限度を差し引いた額について8割～10割が貸付額となります。

全国健康保険協会：償還される金額の8割

国民健康保険：償還される金額の9割

※ご加入の医療保険によっては利用ができないものがあります。詳しくはご加入の医療保険の窓口、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

無料低額診療事業

低所得者、要保護者、ホームレス、DV被害者、人身取引被害者などの生計困難者が対象で、特定の医療機関が無料又は低額な料金によって診療を行う事業です。詳しくは、市町村、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

確定申告による医療費等の控除

1月1日～12月31日までの1年間に一定以上の医療費や介護費用などの自己負担があった場合には、税金が軽減されます。一定の収入がある人が対象となります。詳しくは、税務署、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

〈対象となる費用〉

- ・医師や歯科医師による診療費
- ・駐車場代やガソリン代などを除く、通院にかかった交通費
- ・必要性のあった入院時の部屋代や食事代
- ・医療器具の購入やレンタルの費用
- ・おむつ代（医師の証明が必要）
- ・治療目的でのマッサージなどの施術代
- ・お薬代（市販薬も含む）

レシートや領収書で手続きできます

高額療養費制度では対象とならないものも該当します

その他の制度

制度名	指定難病 医療費助成制度	窓口	熊本県健康づくり推進課、 県保健所、熊本市各区役所 福祉課、熊本県難病相談・ 支援センター、指定難病医 療機関
<p>「難病の患者に対する医療等に関する法律」（平成26年法律第50号）に基づき指定される指定難病について、治療方法の確立等に資するため、難病患者データの収集を効率的に行い治療研究を推進することに加え、効果的な治療方法が確立されるまでの間、長期の療養による医療費の経済的な負担が大きい患者を支援する制度です</p>			
制度名	小児慢性特定疾病 医療費助成制度	窓口	県保健所、熊本市各区役所 保健子ども課
<p>子どもの慢性疾患のうち、小児がんなど特定の疾患が対象となります 児童の健全育成を目的として、疾患の治療方法の確立と普及、患者家庭の 医療費の負担軽減につながるよう、医療費の自己負担分を補助するもので す</p>			
制度名	自立支援医療制度 （育成医療・更生医療）	窓口	市町村担当課
<p>心身の障がい除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額 を軽減する公費負担医療制度です</p>			
制度名	ひとり親家庭等 医療費助成制度	窓口	市町村担当課
<p>ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とし、ひとり 親家庭等の医療費の一部を助成する制度です</p>			
制度名	重度心身障がい者 医療費助成制度	窓口	市町村担当課
<p>重度の障がいをお持ちの方に対して入院や通院、調剤等でかかった医療費 を助成することで、本人の生活の安定と福祉の充実を図ることを目的とし た制度です</p>			

<p>制度名</p>	<p>水俣病総合対策医療事業に係る療養費支給の制度</p>	<p>窓口</p>	<p>熊本県水俣病保健課</p>
<p>水俣病被害者手帳や医療手帳をお持ちの方が医療機関で療養（注1）を受けられた際の費用のうち医療保険適用分の自己負担分、及び介護事業所で介護サービスを受けられた際の介護サービス費用（注2）のうち介護保険適用分の自己負担分を公費負担する制度です</p> <p>（注1）口腔外科を含む歯科、正常な妊娠・出産、第三者行為による交通事故・労災などを除く 入院時食事療養費及び入院時生活療養費については、標準負担額までを公費負担</p> <p>（注2）当事業が対象としている医療系サービスに限る</p>			
<p>制度名</p>	<p>原子爆弾被爆者対策</p>	<p>窓口</p>	<p>熊本県健康づくり推進課、 県保健所</p>
<p>ア) 被爆者健康手帳 昭和20年8月被爆時に一定の地域にいた者、原爆投下後2週間以内に入市した者、被爆者の救護等を行った者及びそれらの者の胎児については、被爆者健康手帳の対象となります 交付を受けることで、被爆者であることが証明され、一般疾病についての医療費自己負担分を国が負担するほか、健康診断を受診することができるなど、各種施策の対象となります</p> <p>イ) 原爆症認定 原子爆弾による放射線が原因となって起こった病気やけがについて医療をうける必要があるときには、認定疾病についての医療費全額を国が負担します（ただし、被爆者健康手帳により、既に医療費自己負担分について給付されているため、自己負担がないことになり変わりありません）</p>			

がん相談支援センターでは、上記制度のご相談を受け付けております



●生活や暮らしを支える制度

身体障害者手帳

身体障害者手帳は、病気の発症や手術などの治療で、身体に障がいが残った場合に申請することができます。利用できる助成・支援には、補装具や日常生活用具などの支給、税金の減額免除、公共交通機関運賃の免除・割引などがあります。

申請時期は、障がいの状態が固定してからの申請となりますが、障がいの内容によってはすぐに申請が可能なものもあります。申請をされる際には、身体障害者福祉法に定められた指定医に、診断書を作成してもらう必要があります。



●身体障害者手帳の交付申請手続きの流れ

①医療機関で対象者であるかどうかを尋ねます



②市町村福祉課（医療機関においてあることもあります）で身体障害者手帳交付申請書及び診断書を貰います



③医療機関の指定医に診断書作成を依頼します



④申請書・診断書・印鑑・写真を用意して、住所地の市町村の窓口へ申請します

詳しくは、福祉事務所、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関へお問い合わせください。

〈参考資料〉

障がい福祉のしおり（熊本県）

障がい福祉のしおり

検索

身体障がい者のためのふくしのしおり（熊本市）

身体障がい者のためのふくしのしおり

検索



傷病手当金

傷病手当金は、被用者保険（健康保険、共済、船員保険）独自のものです。病気休業中に被保険者とその家族の生活を保障するために設けられた制度です。

被保険者が病気やケガのために会社を休み、事業主から十分な報酬が受けることができない場合に、ある程度の収入を保障しています。支給期間は支給開始から最長1年6カ月です。

傷病手当金は、次の(1)から(4)の条件をすべて満たしたときに支給されます。

- (1) 業務外の事由による病気やケガの療養のための休業であること
- (2) 仕事に就くことができないこと
- (3) 連続する3日間を含み4日以上仕事に就けなかったこと
- (4) 休業した期間について給与の支払いがないこと

● 傷病手当金の申請手続きの流れ

①各加入中の保険者又は勤務先の事務担当に傷病手当金申請書を請求します



②医療機関と事業主に申請書の証明を依頼します



③申請書・出勤簿のコピー・賃金台帳のコピーを用意して保険者へ申請します

詳しくは、保険者又は勤務先事務担当、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関へお問い合わせください。



障害年金

障害年金は、病気の発症や手術などの治療で身体に障がいが残った方が、早い時期から年金を受給するための制度です。65歳未満で、日常生活に支障が生じたり、仕事に著しい制限を受ける状態になった方が受給対象です。ご加入の年金保険によって等級の違いがあり、障害基礎年金は、障害等級1、2級、障害厚生年金（旧共済年金を含む）は1～3級までとなっています。また、厚生年金（旧共済年金を含む）には、障害年金の対象とならない軽度の障がいを負った方に一度だけ支給される、障害手当金もあります。

● 障害年金の申請手続きの流れ

①市町村年金担当課又は管轄の年金事務所へ資格要件を確認します
対象者である場合は、障害年金申請用の診断書を渡されます



②医療機関に診断書作成を依頼します



③診断書・必要書類を添付して、住所地の市町村の窓口もしくは年金事務所へ申請します
加入していた年金の種類によって窓口が異なります

詳しくは、市町村年金担当課、管轄の年金事務所、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関へお問い合わせください。



生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金貸付制度は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。都道府県社会福祉協議会を実施主体として、県内の市町村社会福祉協議会が窓口となって実施しています。

生活福祉資金の借入れを希望される場合は、お住まいの市町村社会福祉協議会にご相談いただき、申し込むことができます。

生活保護制度

生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的とした制度です。生活保護は世帯単位で行い、世帯員全員が、その利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、その最低限度の生活の維持のために活用することが前提であり、扶養義務者の扶養は、生活保護法による保護に優先します。

生活保護のご相談・申請窓口は、現在お住まいの地域を所管する福祉事務所の生活保護担当です。



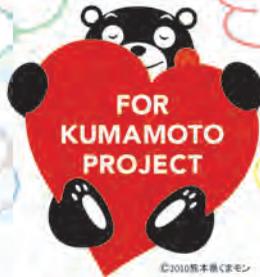
●がんと診断されたら就労相談

がんと診断されても、 すぐに仕事を辞めないで！

やっぱり仕事を
辞めて治療に専念
すべき？

がんのこと話すと
解雇されるの？

職場に迷惑を
かけるかも…



仕事を続ける
自信がない…

仕事と治療を両立している患者さんはたくさんいます！

がんの診断時に働いていた方の約70%は、同じ職場に復帰しています。
働くことは生活や治療継続のためだけではなく、
生き甲斐や生活の質の維持にもつながります。
仕事を辞めると決めてしまう前に、一度立ち止まって考えてみませんか。

出典：熊本県・がん患者等就労支援ネットワーク

第3期がん対策推進基本計画では、がん患者さんの離職防止や再就職のための就労支援を充実させていくことが必要とされ、がん相談支援センターと社会保険労務士・ハローワークなどが連携して就労支援を行う取組みが進められています。がん患者さんに特化した就職制度や休職制度はありませんが、それぞれの職場で就業規則が定められていますので、職場の就業規則を確認しましょう。

● 治療のスケジュールや内容を理解しておきましょう

がんの部位や治療内容により、副作用や就労にもたらす影響も異なります。まずは主治医やがん相談支援センターにご相談ください。

就労支援に関わる相談機関

● がん相談支援センター

熊本県内のがん相談支援センターの一覧表はP.7～8をご覧ください。

● 医療機関における就労相談窓口

施設名	日時	対象者	対応者	問合わせ先
熊本労災病院 (両立支援相談窓口)	平日 8:15～17:00	どなたでも	両立支援 コーディネーター	熊本労災病院 治療就労両立支援部 0965-33-4151
水俣市立総合医療 センター (治療と仕事の両立 支援室)	平日 8:30～17:00 (12:00～13:00除く)	どなたでも	両立支援 コーディネーター	水俣市立総合医療センター 治療と仕事の両立支援室 0966-63-2101
国立病院機構 熊本医療センター (両立支援相談窓口)	平日 9:00～16:30	どなたでも	両立支援 コーディネーター 両立支援促進員等	国立病院機構熊本医療セ ンター相談支援センター 096-353-6501
熊本大学病院 (長期療養者就職支 援事業)	毎月 第2、4水曜日 11:00～16:00 (予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	ハローワーク熊本 就職支援ナビゲ ーター	熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676 ハローワーク熊本職業相談第 1部門就職支援ナビゲーター 096-371-8262
大腸肛門病センター 高野病院 (長期療養者就労支 援事業)	毎月 第3火曜日 10:00～12:00 (原則予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	ハローワーク熊本 就職支援ナビゲ ーター	大腸肛門病センター高野病院 がん相談支援センター 096-320-6500 ハローワーク熊本職業相談第 1部門就職支援ナビゲーター 096-371-8262
熊本赤十字病院 (長期療養者就労支 援事業)	毎月 第3水曜日 11:00～15:00 (予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	ハローワーク熊本 就職支援ナビゲ ーター	熊本赤十字病院 患者サポートセンター 096-384-2111 ハローワーク熊本職業相談第 1部門就職支援ナビゲーター 096-371-8262

●ハローワーク（公共職業安定所）

安定所	所在地	電話番号	管轄地域
熊本公共職業安定所	熊本市中央区大江 6-1-38	096-371-8609	熊本市（旧富合町、 旧植木町、旧城南 町を除く）
上益城公共職業 安定所（出張所）	上益城郡御船町辺田見 395	096-282-0077	上益城郡、阿蘇郡 西原村
八代公共職業安定所	八代市清水町1-34	0965-31-8609	八代市、八代郡
菊池公共職業安定所	菊池市隈府771-1	0968-24-8609	菊池市、山鹿市、 合志市、菊池郡、 熊本市のうち旧植 木町
玉名公共職業安定所	玉名市中1334-2	0968-72-8609	玉名市、荒尾市、 玉名郡
天草公共職業安定所	天草市丸尾町16-48	0969-22-8609	天草市、上天草市、 天草郡
球磨公共職業安定所	人吉市下薩摩瀬町 1602-1	0966-24-8609	人吉市、球磨郡
宇城公共職業安定所	宇城市松橋町松橋266	0964-32-8609	宇土市、宇城市、 下益城郡、熊本市 のうち旧富合町、 旧城南町
阿蘇公共職業安定所	阿蘇市一の宮町宮地 2318-3	0967-22-8609	阿蘇市、阿蘇郡 （西原村を除く）
水俣公共職業安定所	水俣市八幡町3-2-1	0966-62-8609	水俣市、葦北郡

相談室名	所在地	電話番号
山鹿市地域職業相談室	山鹿市山鹿1026-3 熊本県鹿本総合庁舎1階	0968-43-1724
荒尾市地域職業相談室	荒尾市宮内出目390 荒尾市役所内	0968-63-1689
宇土市地域職業相談室	宇土市浦田町51 勤労青少年ホーム2階	0964-26-1003
上天草ふるさとハローワーク	上天草市大矢野町上1514 上天草市役所大矢野庁舎内	0964-57-4510

● 熊本産業保健総合支援センター・各地域産業保健センター

(1) 熊本産業保健総合支援センター

産業保健に関する相談対応や専門研修を実施するほか、メンタルヘルス対策についての個別訪問による教育や相談、がん等の病気になっても労働者が安心して治療を受けながら働き続けられる職場づくりを支援しています。

センター名	所在地	電話番号
熊本産業保健総合支援センター	熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3階	096-353-5480

(2) 各地域産業保健センター

小規模の事業所で働く労働者に対する産業保健サービスを無料で提供するために県内7カ所で開催されています。メンタルヘルスを含む労働者の健康相談、健康診断結果についての医師からの意見聴取、産業保健に関する情報提供を行っています。

センター名	所在地	電話番号
熊本地域 産業保健センター	熊本市中央区本荘5-15-12 (熊本市医師会ヘルスケアセンター内)	096-366-6788
八代水俣地域 産業保健センター	八代市平山新町字中町4438-5 (八代市医師会内)	0965-39-9531
有明地域 産業保健センター	玉名市中1942-5 (玉名郡市医師会内)	0968-72-3050
人吉球磨地域 産業保健センター	人吉市南泉田町72-2 (人吉市医師会内)	0966-22-3059
天草地域 産業保健センター	天草市亀場町大字食場1181-1 (天草地域健診センター内)	0969-25-1236
菊池鹿本地域 産業保健センター	菊池市大琳寺75-3 (菊池郡市医師会立病院内)	0968-23-1210
阿蘇地域 産業保健センター	阿蘇市黒川1178 (阿蘇郡市医師会)	0967-34-1177

● 熊本県社会保険労務士会

熊本県社会保険労務士会には、労働問題全般の相談窓口として総合労働相談所が設置されており、労働者や経営者が無料で相談することができます。また、各地で無料相談が開催されており、派遣された社会保険労務士が相談を担当しています。社会保険労務士は、労働問題や年金問題などの社会保険の専門家として位置付けられています。

総合労働相談所

日 時：毎月第1・第3木曜日 13:30～16:30（祝日除く）

事前受付：平日 9:00～16:00

申込方法：TEL 096-324-1365 又は FAX 096-324-1208

熊本市中央区細工町4-30-1扇寿ビル5階

無料相談会

名称	所在地	連絡先	期日・時間
熊本市役所 労働相談	熊本市中央区手取本町1-1 熊本市役所8階市民相談室	096-328-2377	毎週水曜日 13:00～16:00
八代市役所 労働相談	八代市松江城町1-25 八代市役所1階市民相談室	0965-33-4452	毎月第3火曜日 10:00～12:00 （祝祭日は除く）
玉名商工会館 年金・労働無料相談	玉名市高瀬290-1 玉名商工会館4階	0968-72-3106	毎月第2水曜日 13:30～15:30
天草市 年金・労働無料相談	天草市浄南町4-15 天草市複合施設こらす	0969-27-7788	毎月第3木曜日 13:30～16:30

就労支援に関わる制度等

● 雇用保険（基本手当）

雇用保険は、定年、倒産、契約期間の満了などで離職した方が、再就職するための生活資金として支給される手当です。基本手当の所定給付日数は、受給資格に係る離職日における年齢、雇用保険の被保険者であった期間及び離職の理由などによって決定されます。疾病又は負傷のために職業に就くことができない場合には、基本手当の代わりに傷病手当として支給されることもあります。申請窓口はハローワーク（公共職業安定所）です。

雇用保険を受給できない方へ

雇用保険を受給できない求職者の方（ただし世帯収入や世帯資産が一定額を超える者を除く）が、「職業訓練受講給付金」を受給しながら、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指す制度として、求職者支援制度があります
申請窓口はハローワーク（公共職業安定所）です

●フレックスタイム制度

フレックスタイム制度は、一人ひとりの1ヶ月の労働時間を一定にしながら始業及び就業時間は各自の自由裁量に委ねられる制度です。コアタイム（必ず全員が就業しなければならない時間帯）が設定されることが一般的です。コアタイムを満たす働き方で自由に出・退勤ができます。

●産業医・産業保健師等

産業医とは、企業などにおいて健康管理を担う医師で、基本的に治療行為は行わず、健康診断の結果を基にした働き方に関するアドバイスや保健指導、職場巡視による作業環境や作業方法の改善指導、長時間残業者への面接、長期間病気休業していた労働者の職場復帰支援、さらには健康教育など、仕事と健康に関わる様々な職務を担当します。

産業保健師等とは、企業などに勤務する保健師・看護師で、産業医と同様に従業員の健康管理に従事します。産業医と協働で働くこともあれば、産業医がいない職場で独立していることもあります。

治療と仕事の両立を目指すときに、産業医や産業保健師等は、職場の事情を理解し医学知識もある専門家として、頼りになる相談相手になります。また、主治医から産業医への情報提供が保険診療で評価されるようになりました。



●問い合わせ先一覧

市町村

市町村名	所在地 ※（ ）書きは仮庁舎	電話番号
熊本市役所	熊本市中央区手取本町1-1	096-328-2111
中央区役所	熊本市中央区手取本町1-1	096-328-2555
北区役所	熊本市北区植木町岩野238-1	096-272-1111
西区役所	熊本市西区小島2丁目7-1	096-329-1111
東区役所	熊本市東区東本町16-30	096-367-9111
南区役所	熊本市南区富合町清藤405-3	096-357-4111
八代市役所	八代市松江城町1-25 (八代市松江城町1-25)	0965-33-4111
人吉市役所	人吉市麓町16 (人吉市下城本町1578-1)	0966-22-2111
荒尾市役所	荒尾市宮内出目390	0968-63-1111
水俣市役所	水俣市陣内1-1-1 (水俣市陣内1-1-53)	0966-63-1111
玉名市役所	玉名市岩崎163	0968-75-1111
山鹿市役所	山鹿市山鹿987-3	0968-43-1117
菊池市役所	菊池市隈府888	0968-25-7111
宇土市役所	宇土市浦田町51 (宇土市浦田町51)	0964-22-1111
上天草市役所	上天草市大矢野町上1514	0964-56-1111
宇城市役所	宇城市松橋町大野85	0964-32-1111
阿蘇市役所	阿蘇市一の宮町宮地504-1	0967-22-3111
天草市役所	天草市東浜町8-1	0969-23-1111
合志市役所	合志市竹迫2140	096-248-1111
美里町役場	下益城郡美里町馬場1100	0964-46-2111
玉東町役場	玉名郡玉東町大字木葉759	0968-85-3111
南関町役場	玉名郡南関町大字関町1316	0968-53-1111
長洲町役場	玉名郡長洲町大字長洲2766	0968-78-3111

市町村名	所在地 ※（ ）書きは仮庁舎	電話番号
和水町役場	玉名郡和水町江田3886	0968-86-3111
大津町役場	菊池郡大津町大字大津1233 (菊池郡大津町大字大津1233)	096-293-3111
菊陽町役場	菊池郡菊陽町大字久保田2800	096-232-2111
南小国町役場	阿蘇郡南小国町大字赤馬場143	0967-42-1111
小国町役場	阿蘇郡小国町大字宮原1567-1	0967-46-2111
産山村役場	阿蘇郡産山村大字山鹿488-3	0967-25-2211
高森町役場	阿蘇郡高森町大字高森2168	0967-62-1111
西原村役場	阿蘇郡西原村大字小森3259	096-279-3111
南阿蘇村役場	阿蘇郡南阿蘇村大字河陽1705-1	0967-67-1111
御船町役場	上益城郡御船町大字御船995-1	096-282-1111
嘉島町役場	上益城郡嘉島町大字上島530	096-237-1111
益城町役場	上益城郡益城町大字宮園702 (上益城郡益城町木山594)	096-286-3111
甲佐町役場	上益城郡甲佐町大字豊内719-4	096-234-1111
山都町役場	上益城郡山都町浜町6	0967-72-1111
氷川町役場	八代郡氷川町島地642	0965-52-7111
芦北町役場	葦北郡芦北町大字芦北2015	0966-82-2511
津奈木町役場	葦北郡津奈木町大字小津奈木2123	0966-78-3111
錦町役場	球磨郡錦町大字一武1587	0966-38-1111
多良木町役場	球磨郡多良木町大字多良木1648	0966-42-6111
湯前町役場	球磨郡湯前町1989-1	0966-43-4111
水上村役場	球磨郡水上村大字岩野90	0966-44-0311
相良村役場	球磨郡相良村大字深水2500-1	0966-35-0211
五木村役場	球磨郡五木村甲字下手2672-7	0966-37-2211
山江村役場	球磨郡山江村大字山田甲1356-1	0966-23-3111
球磨村役場	球磨郡球磨村大字渡丙1730	0966-32-1111
あさぎり町役場	球磨郡あさぎり町免田東1199	0966-45-1111
苓北町役場	天草郡苓北町志岐660	0969-35-1111

※電話番号は、代表を記載。

医療保険の相談窓口

保険種類	対象者	相談窓口
組合管掌健康保険	健康保険組合に設立した会社に所属する社員及びその扶養家族	各健康保険組合
全国健康保険協会管掌健康保険協会	健康保険組合を設立していない会社に所属する社員及びその扶養家族	全国健康保険協会熊本支部 熊本市中央区水前寺1-20-22 水前寺センタービル TEL：096-340-0260
船員保険	船舶所有者に使用される船員及びその扶養家族	全国健康保険協会船員保険部 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング14階 TEL：0570-300-800
共済組合	公務員、独立行政法人職員、日本郵政株式会社等職員、私立学校職員、及びその扶養家族	各共済組合
国民健康保険	農業漁業者・自営業者・自由業者・職場の健康保険に加入していない方	市町村の国民健康保険担当課
後期高齢者医療制度	75歳以上の方、65歳以上75歳未満で一定の障がいがある方	熊本県後期高齢者医療広域連合 熊本市東区健軍2丁目4-10 熊本県市町村自治会館2階 TEL：096-368-6511

社会福祉協議会

県と各市区町村に社会福祉協議会が設置されており、生活福祉資金貸付制度の窓口になっています。市町村役場や福祉施設に併設されている場合があります。

社協名	所在地	入居施設	電話番号	
熊本県	熊本市中央区南千反畑町3-7	熊本県総合福祉センター	096-324-5474	
事務所名	熊本市	熊本市中央区新町2丁目4-27	熊本市健康センター新町分室 3階	096-322-2331
	中央区	熊本市中央区新町2丁目4-27	熊本市健康センター新町分室 3階	096-288-5081
	東区	熊本市東区秋津3丁目15-1	秋津まちづくりセンター	096-282-8379
	西区	熊本市西区小島2丁目7-1	西区役所	096-288-5817
	南区	熊本市南区城南町宮地1050	熊本市城南福祉センター	0964-28-7030
北区	熊本市北区植木町岩野238-1	北区役所（旧健康指導ルーム）	096-272-1141	

社協名	所在地	入居施設	電話番号
八代市	八代市本町1丁目9-14		0965-62-8228
人吉市	人吉市西間下町41-1	人吉市総合福祉センター	0966-24-9192
荒尾市	荒尾市下井手193-1	荒尾市総合福祉センター	0968-66-2993
水俣市	水俣市牧ノ内3-1	水俣市総合もやい直しセンター	0966-63-2047
玉名市	玉名市岩崎88-4	玉名市福祉センター	0968-71-0080
天草市	天草市五和町御領2943	天草市役所五和支所	0969-32-2552
山鹿市	山鹿市中578		0968-43-1134
菊池市	菊池市隈府888	菊池市福祉会館	0968-25-5000
宇土市	宇土市浦田町44	宇土市福祉センター	0964-23-3756
上天草市	上天草市松島町合津3433-52		0969-56-2455
宇城市	宇城市松橋町豊福1786	宇城市老人福祉センター	0964-32-1316
阿蘇市	阿蘇市内牧976-2	阿蘇市保健福祉センター	0967-32-1127
合志市	合志市須屋2251-1	合志市保健福祉センター ふれあい館	096-242-7000
美里町	下益城郡美里町永富1510	美里町老人福祉センター	0964-47-0065
玉東町	玉名郡玉東町木葉759	玉東町福祉センター	0968-85-3150
和水町	玉名郡和水町平野1276-3	和水町福祉センター	0968-34-2366
南関町	玉名郡南関町小原1405		0968-69-9020
長洲町	玉名郡長洲町大字長洲2771	長洲町ふれあいセンター	0968-78-1440
大津町	菊池郡大津町大字室151-1	大津町老人福祉センター	096-293-2027
菊陽町	菊池郡菊陽町久保田2623	菊陽町老人福祉センター	096-232-3593
南小国町	阿蘇郡南小国町大字赤馬場3388-1	南小国町地域福祉センターりんどう荘	0967-42-1501
小国町	阿蘇郡小国町宮原1530-2	福祉センター悠ゆう館	0967-46-5575
産山村	阿蘇郡産山村山鹿488-3	産山村基幹集落センター	0967-23-9300
高森町	阿蘇郡高森町高森1258-1	高森町芙蓉館	0967-62-2158
南阿蘇村	阿蘇郡南阿蘇村久石2705	久木野総合福祉センター	0967-67-0294
西原村	阿蘇郡西原村小森572	西原村地域福祉センター	096-279-4141
御船町	上益城郡御船町御船 1001-1	御船町コミュニティセンター 「ひばり荘」	096-282-0785
嘉島町	上益城郡嘉島町上島551	嘉島町福祉センター	096-237-2981
益城町	上益城郡益城町惣領1470		096-214-5566

社協名	所在地	入居施設	電話番号
甲佐町	上益城郡甲佐町岩下24	老人いこいの家	096-234-1192
山都町	上益城郡山都町大平91	生活支援ハウス 清楽苑	0967-82-3345
氷川町	八代郡氷川町島地651	氷川町竜北福祉センター	0965-52-5075
芦北町	葦北郡芦北町大字湯浦 1439-1	芦北町もやい直しセンター 「きずなの里」	0966-86-0294
津奈木町	葦北郡津奈木町大字小津奈木2123	津奈木町農業就業改善センター	0966-61-2940
錦町	球磨郡錦町一武1587	錦町総合福祉センター	0966-38-2074
あさぎり町	球磨郡あさぎり町岡原北929		0966-49-2111
多良木町	球磨郡多良木町大字多良木1571-1		0966-42-1112
湯前町	球磨郡湯前町1693-37	湯前町高齢者生活福祉センター湯愛	0966-43-4117
水上村	球磨郡水上村大字岩野2678	水上村保健センター	0966-44-0782
相良村	球磨郡相良村大字深水2500-1	相良村役場別館	0966-35-0093
五木村	球磨郡五木村甲2672-41	五木村保健福祉総合センター	0966-37-2333
山江村	球磨郡山江村大字山田甲1373-1	山江村福祉保健センター「健康の駅」	0966-24-1508
球磨村	球磨郡球磨村大字一勝地乙1-5	球磨村高齢者生活福祉センター せせらぎ	0966-32-0022
苓北町	天草郡苓北町志岐660	苓北町保健センター内	0969-35-1270

税務署

税務署名	所在地	電話番号	管轄地域
阿蘇税務署	阿蘇市一の宮町宮地1944	0967-22-0551	阿蘇市、阿蘇郡
天草税務署	天草市古川町4-2	0969-22-2510	上天草市、天草市、天草郡
宇土税務署※	宇土市北段原町15宇土合同庁舎	0964-22-0410	宇土市、宇城市、下益城郡
菊池税務署	菊池市限府874-1	0968-25-2121	菊池市、合志市、菊池郡
熊本西税務署※	熊本市西区春日2丁目10-1熊本地方合同庁舎B棟	096-355-1181	熊本市（中央区、西区、南区、北区）
熊本東税務署※	熊本市東区東町3丁目2-53	096-369-5566	熊本市東区、上益城郡
玉名税務署	玉名市岩崎273玉名合同庁舎	0968-72-2125	荒尾市、玉名市、玉名郡
人吉税務署※	人吉市寺町20-1	0966-23-2311	人吉市、球磨郡
八代税務署※	八代市花園町16-2	0965-32-3141	八代市、水俣市、八代郡、葦北郡
山鹿税務署※	山鹿市山鹿970山鹿合同庁舎	0968-44-2181	山鹿市

※申請書等送付先は、熊本市東区東町3丁目2-53熊本東税務署内
熊本国税業務センター

保健所

保健所名	所在地	電話番号	管轄地域
熊本市保健所	熊本市中央区大江5-1-1	096-364-3186	熊本市
山鹿保健所	山鹿市山鹿1026-3 熊本県鹿本総合庁舎1階	0968-44-4121	山鹿市
菊池保健所	菊池市隈府1272-10	0968-25-4156	菊池市、菊池郡、合志市
阿蘇保健所	阿蘇市一の宮町宮地2402 熊本県阿蘇総合庁舎1階	0967-24-9030	阿蘇市、阿蘇郡
御船保健所	上益城郡御船町辺田見400	096-282-0016	上益城郡
八代保健所	八代市西片町1660	0965-32-6121	八代市、八代郡
水俣保健所	水俣市八幡町2-2-13	0966-63-4104	水俣市、葦北郡
人吉保健所	人吉市西間下町86-1 熊本県球磨総合庁舎2階	0966-22-3107	人吉市、球磨郡
有明保健所	玉名市岩崎1004-1	0968-72-2184	荒尾市、玉名市、玉名郡
宇城保健所	宇城市松橋町久具400-1	0964-32-1147	宇土市、宇城市、下益城郡
天草保健所	天草市今釜新町3530	0969-23-0172	上天草市、天草郡、天草市

福祉事務所

● 市町村福祉事務所（管轄区域は同市区内）

事務所名	所在地	電話番号
熊本市中央福祉事務所	熊本市中央区手取本町1-1 熊本市中央区役所内	096-328-2320
熊本市東福祉事務所	熊本市東区東本町16-30 熊本市東区役所内	096-367-9129
熊本市西福祉事務所	熊本市西区小島2-7-1 熊本市西区役所内	096-329-6839
熊本市南福祉事務所	熊本市南区富合町清藤405-3 熊本市南区役所内	096-357-4134
熊本市北福祉事務所	熊本市北区植木町岩野238-1 熊本市北区役所内	096-272-6910
八代市福祉事務所	八代市松江城町1-25	0965-33-8722
人吉市福祉事務所	人吉市麓町16人吉市役所内	0966-22-2111
荒尾市福祉事務所	荒尾市宮内出目390荒尾市役所内	0968-63-1409
水俣市福祉事務所	水俣市陣内1-1-1水俣市役所内	0966-61-1670

事務所名	所在地	電話番号
玉名市福祉事務所	玉名市岩崎163玉名市役所内	0968-75-1222
天草市福祉事務所	天草市東浜町8-1天草市役所内	0969-32-6072
山鹿市福祉事務所	山鹿市山鹿987-3山鹿市役所内	0968-43-1168
菊池市福祉事務所	菊池市隈府888菊池市役所内	0968-25-1139
宇土市福祉事務所	宇土市浦田町51宇土市役所内	0964-22-1111
上天草市福祉事務所	上天草市松島町合津7915-1 上天草市役所松島庁舎内	0969-56-1111
宇城市福祉事務所	宇城市松橋町大野85宇城市役所内	0964-32-1387
阿蘇市福祉事務所	阿蘇市一の宮町宮地504-1阿蘇市役所内	0967-22-3167
合志市福祉事務所	合志市竹迫2140合志市役所内	096-248-1111

● 県福祉事務所

事務所名	住所	電話番号	管轄区域
玉名福祉事務所	玉名市岩崎1004-1 有明保健所内	0968-74-2117	玉東町、南関町、長洲町、 和水町
菊池福祉事務所	菊池市隈府1272-10 菊池保健所内	0968-25-4278	大津町、菊陽町
阿蘇福祉事務所	阿蘇市一の宮町宮地2402	0967-24-9034	南小国町、小国町、産 山村、高森町、南阿蘇村、 西原村
上益城福祉事務所	上益城郡御船町辺田見396-1 上益城総合庁舎内	096-282-6451	御船町、嘉島町、益城町、 甲佐町、山都町、美里 町
八代福祉事務所	八代市西片町1660 八代総合庁舎内	0965-33-8756	氷川町
芦北福祉事務所	葦北郡芦北町芦北2670 芦北総合庁舎内	0966-82-2128	芦北町、津奈木町
球磨福祉事務所	人吉市西間下町86-1 球磨総合庁舎内	0966-22-1040	錦町、あさぎり町、多良 木町、湯前町、水上村、 相良村、五木村、山江村、 球磨村
天草福祉事務所	天草市今釜新町3530 天草総合庁舎内	0969-22-4241	苓北町

年金事務所

年金のご相談は、全国の年金事務所です。なお、相談を行う際は、年金証書、振込通知書、年金手帳や被保険者証といった、本人であることを確認できるものが必要です。

事務所名	所在地	電話番号
街角の年金 相談センター熊本	熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル3階	096-206-2444
熊本西年金事務所	熊本市中央区千葉城町2-37	096-353-0142
熊本東年金事務所	熊本市東区東町4-6-41	096-367-2503
玉名年金事務所	玉名市松木11-4	0968-74-1612
本渡年金事務所	天草市東町2-21	0969-24-2112
八代年金事務所	八代市萩原町2-11-41	0965-35-6123



●市町村がん検診担当一覧

地域名	市町村名	担当課等	電話番号
熊本市	熊本市	健康づくり推進課	096-361-2145
宇城地域	宇土市	健康づくり課（宇土市保健センター）	0964-22-2300
	宇城市	健康づくり推進課（宇城市保健福祉センター）	0964-32-7100
	美里町	健康保険課	0964-46-2113
玉名地域	荒尾市	すこやか未来課（荒尾市保健センター）	0968-63-1133
	玉名市	保健予防課（玉名市保健センター）	0968-72-4188
	玉東町	保健介護課（保健センター）	0968-85-6557
	和水町	健康福祉課	0968-86-5724
	南関町	福祉課（南関町保健センター）	0968-53-3298
	長洲町	福祉保健介護課（長洲町保健センター）	0968-78-7171
鹿本地域	山鹿市	健康増進課（山鹿健康福祉センター）	0968-43-0050
菊池地域	菊池市	健康推進課	0968-25-7219
	合志市	健康づくり推進課	096-248-1173
	大津町	健康保険課（大津町子育て・健診センター）	096-294-1075
	菊陽町	健康・保険課	096-232-4912
阿蘇地域	阿蘇市	ほけん課（一の宮保健センター）	0967-22-5088
	南小国町	町民課	0967-42-1113
	小国町	町民課	0967-46-2116
	産山村	健康福祉課	0967-25-2212
	高森町	健康推進課	0967-62-2910
	南阿蘇村	健康推進課	0967-67-2704
	西原村	保健衛生課	096-279-4397
上益城地域	御船町	健康づくり支援課（御船町保健センター）	096-282-1602
	嘉島町	町民保険課	096-237-2574
	益城町	健康保険課（益城町保健福祉センター）	096-234-6123
	甲佐町	健康推進課（甲佐町総合保健福祉センター）	096-235-8711
	山都町	健康ほけん課	0967-72-1295

地域名	市町村名	担当課等	電話番号
八代地域	八代市	健康推進課（八代市保健センター）	0965-32-7200
	氷川町	町民課（氷川町健康センター）	0965-52-7154
芦北地域	水俣市	いきいき健康課（水俣市保健センター）	0966-63-3202
	芦北町	健康増進課	0966-82-2511
	津奈木町	ほけん福祉課	0966-78-5555
球磨地域	人吉市	保健センター	0966-24-8010
	錦町	健康増進課（錦町保健センター）	0966-38-2048
	多良木町	住民ほけん課（多良木町保健センター）	0966-42-1100
	湯前町	保健福祉課（湯前町保健センター）	0966-43-4112
	水上村	保健福祉課	0966-44-0313
	相良村	保健福祉課	0966-35-1032
	五木村	保健福祉課	0966-37-2214
	山江村	健康福祉課	0966-24-1700
	球磨村	健康衛生課	0966-32-1139
	あさぎり町	健康推進課	0966-45-7216
天草地域	天草市	健康増進課（天草中央保健福祉センター）	0969-24-0620
	上天草市	健康づくり推進課（上天草市保健センター）	0969-28-3356
	苓北町	福祉保健課	0969-35-3330

がん検診は、市町村で実施期間や料金等が異なりますので、担当窓口
にお問い合わせください。



8

がんサロン・患者団体等のご紹介

がんサロン・患者団体等

がん患者さんやご家族が心の悩みや体験等を自由に語れる場として、がんサロンや患者会などがあります。

● 県内のがんサロン

がんサロンとは、次のような場所です。

- ・患者仲間で安らぐための空間
- ・対話を通して患者・家族の不安や孤独化を緩和する場所
- ・よりよく過ごすきっかけを自分のペースでみつける場所
- ・がん医療に対する情報交換をする場所



地域	サロン名	開催日時	場所	会費	連絡先
熊本	済生会がんサロン なでしこ	毎月第1水曜日 13時～14時	済生会熊本病院	無料	済生会熊本病院 がん相談支援センター 096-241-0275
	二の丸がんサロン	毎月第1金曜日 13時～15時	国立病院機構 熊本医療センター 研修センター2階	無料	熊本医療センター がん相談支援センター 096-353-6501
	がんサロン よかこネット	毎月第1金曜日 14時～15時半	熊本地域医療センター 本館2階多目的ルーム	無料	熊本地域医療センター 096-363-3311
	森都がんサロン ほほえみ	毎月第2火曜日 13時半～15時半	くまもと森都総合病院 5階会議室	無料	くまもと森都総合 病院地域医療連携室 096-364-6000
	金峰山がんサロン できたしこポチポチ いこう楽遊彩	3月～12月 第2水曜日 11時～13時	熊本市西区	300円 会場費	大腸肛門病センター高野 病院患者支援センター 096-206-3330
	くまちゅうがんサロン クローバー	毎月第2金曜日 13時～15時	熊本中央病院	無料	熊本中央病院 がん相談支援センター 096-370-3111(代)
	熊本がんサロン	毎月第3火曜日 10時～12時	熊本大学病院 東病棟12F 多目的ホール	無料	熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676

地域	サロン名	開催日時	場所	会費	連絡先
熊本	出水南がんサロン	不定期	熊本市中央区	300円 茶菓子 代込み	(TEL・FAX) 096-379-3791
	大江がんサロン みどり	毎月第2土曜日 13時半～15時半	大腸肛門病センター 高野病院	無料	大腸肛門病センター 高野病院 096-320-6500
	働き&子育て世代の ためのがんサロン	毎月第3土曜日 14時～16時	ウエルパルクまもと	無料	熊本市保健所 医療政策課 096-364-3186
	熊本市市民病院 がんサロン もくせい	毎月第4火曜日 14時～16時	熊本市立 熊本市市民病院	無料	熊本市市民病院 がん相談支援センター 096-365-1711
	長嶺がんサロン CROSS (クロス)	毎月第4水曜日 10時～12時	熊本赤十字病院	無料	熊本赤十字病院 がん相談支援センター 096-384-2111
宇城	宇城がんサロン ～ほっとカフェ～	毎月第3金曜日 14時半～16時	熊本南病院 1病棟面談室	無料	熊本南病院 地域医療連携室 0964-32-0826
有明	荒尾がんサロン ひまわり	毎月第2火曜日 13時～14時	荒尾市民病院 正面玄関右横 (患者図書室けやき)	200円 茶菓子 代込み	荒尾市民病院 相談支援センター 0968-63-1115
	有明がんサロン 樹の家	毎月第3火曜日 13時～15時	複合介護施設風の杜 ふれあいホール	300円 茶菓子 代込み	西原クリニック 0968-62-0622
	なんかんつば会	1月～11月 第4日曜日 13時半～15時	南関町交流センター ※町外の方は施設利用料	無料 100円	南関町保健センター 0968-53-3298
鹿本	山鹿がんサロン	偶数月第1土曜日 10時～11時半	山鹿市民医療センター 1階医療研修センター	無料	山鹿市民医療センター 0968-44-2185
菊池	菊池がんサロン しいの木	毎月5日 10時～12時	菊池市七城町	300円 茶菓子 代込み	090-7269-4173
	がんサロン再春	毎月第3木曜日 13時半～15時半	熊本再春医療センター 管理棟1階	無料	熊本再春医療センター 地域医療連携室 096-242-1000
	こうしがんサロン かすみそう	毎月第2木曜日 13時半～15時	合志第一病院	無料	合志第一病院 地域連携室 096-242-2745(代)
阿蘇	阿蘇がんサロン 笑がお	毎月第2木曜日 13時半～15時半	阿蘇医療センター	無料	阿蘇医療センター 地域連携室 0967-34-0311

がんサロン・患者
団体等のご紹介

地域	サロン名	開催日時	場所	会費	連絡先
上益城	みふねがんカフェ いきいき茶論	毎月第4金曜日 10時～12時	御船町保健センター 2階研修室（他）	無料	御船がんサロン 世話人会 050-3453-0918
八代	八代がんサロン 秋桜 cosmos	毎月第2水曜日 13時～15時	熊本労災病院	無料	熊本労災病院 がん相談支援センター 0965-33-4151
芦北	がんサロン 「未来へ」	毎月第3金曜日 14時～2時間 程度	水俣市立総合医療センター 西館6階会議室	無料	水俣市立総合医療センター 地域医療支援室 0966-63-8833
球磨	くま川がんサロン	毎月第4水曜日 13時～15時	人吉医療センター 多目的室	無料	人吉医療センター 相談支援センター 0966-22-2191
天草	がんサロン天草 たんぼぼの会	毎月第3水曜日 13時半～15時	天草中央総合病院	200円	天草中央総合病院 0969-22-0011
	上天草がんサロン アクアマリン	毎月第4金曜日 13時半～15時半	上天草総合病院	無料	上天草総合病院 0969-62-1122
	がんサロン ふらっと	毎月第2金曜日 14時～15時半	天草地域医療センター	無料	天草地域医療センター 0969-24-4111

※一覧に記載してあるサロンは、がんサロンネットワーク熊本に加入しているサロンです。

● 県内の患者会・その他の団体

がんサロン以外にも患者会等の活動の場所があります。

詳しくはがん相談支援センター（P.7～8）や問い合わせ窓口にお問い合わせください。

地域	名称	対象者・病名	主な活動内容	問い合わせ窓口 (窓口の名称・電話番号)
熊本	グリーンケアサロン 縁(まる)カフェ	ご遺族 など	奇数月 大切な人を亡くされた 方の悲嘆のケア	☐:marucafe3@gmail.com 熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676
	スマイリー wish	乳がん	年4回（院内のみ）患 者間でフリートーク、 茶話会、悩み相談	熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676
	乳がん悩み相談会	乳がん	月1回 乳がんの術前・ 術後の不安や治療を継 続する上での悩みの相 談会（8月はお休み）	熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676

地域	名称	対象者・病名	主な活動内容	問い合わせ窓口 (窓口の名称・電話番号)
熊本	湖水会 (ウロストミー患者会)	尿路がん 膀胱がん	年3回(院内のみ) 情報交換や患者同士の 語らいの場所	熊本市市民病院 泌尿器科外来 096-365-1711
	陽だまりの集い (たんぼぼの会)	小児がん	年3回(不定期) 自由に立ち寄り語り合 える場の提供	熊本赤十字病院 小児科外来 096-384-2111
	ひまわり会	尿路 ストーマ 保有者	年2回 情報共有や情報提供の 場	国立病院機構 熊本医療センター 096-353-6501
	肥後 ほほえみの会	乳がん	月1回(患者のみ) 自由に立ち寄り語り合 える場の提供	くまもと森都総合病院 がん相談支援センター 096-364-6000
	日本オストミー協会 熊本県支部	オストメ イトの方	年11回(県内7地域で 開催)ストーマに関す る体験談及び医療相談	大腸肛門病センター 高野病院患者支援センター 096-206-3330
	リレー・フォー・ラ イフ・ジャパンくま もと	すべての がん	年1回 がん患者支援イベント	リレー・フォー・ライフ・ジャパン くまもと実行委員会 096-206-3330
	熊本県天声会	声帯摘出 などで発 声機能を 失った方	毎週火曜日 コミュニケーションに 必要な新しい声の訓練・ 情報交換の場	㈱ユーテックス熊本支店内 TEL: 096-389-2266 FAX: 096-389-0118 ※開催場所: 熊本大学病院
有明	血液疾患患者と家族 「晴れの会」	血液疾患	月1回 電話相談・専門医によ る個別相談(面談)など	代表連絡先 0968-73-2204 090-3661-5227
鹿本	おっぴいの集い (プレストチーム)	乳がん	年1回 ミニレクチャー・交流会	山鹿市民医療センター 外科外来 0968-44-2185
	母の会 (ストーマチーム)	オストメ イトの方	年2回ケア自立のため の勉強会・交流会・ス トーマケア用品紹介	山鹿市民医療センター 外科外来 0968-44-2185
天草	患者家族会 (ひまわり会)	すべての がん	年6回 主に院外活動(ピクニック や花見等)を行い、語り合う	天草中央総合病院 ひまわり会事務局 0969-22-0011
八代	がん患者会 「ひまわり」	すべての がん	年6回 患者会やミニ勉強会を開催、 患者・家族へのサポート提 供や情報交換の場の提供	熊本総合病院 がん相談支援センター 0965-32-7111
球磨	ひまわり会	乳がん	年5回(不定期) 疾患に特徴的な症状など への対処方法の研修会や 語り合いの場の提供	人吉医療センター 相談支援センター 0966-22-2191

がん経験者によるピアサポート「がんピア(仲間)おしゃべり相談室」

熊本県では、がんを経験された方とお話しができる場として「おしゃべり相談室」を設置しています。戸惑いや不安な気持ちを、ありのままお話しすることで、気持ちの整理ができるかもしれません。

実施場所・日時等（個別面談・無料・予約不要）

実施場所	日時	住所・電話番号
熊本赤十字病院	毎週水曜日、金曜日 13時～15時半	熊本市東区長嶺南2-1-1 096-384-2111
国立病院機構 熊本医療センター	第1・2火曜日 11時～12時半	熊本市中央区二の丸1-5 096-353-6501
熊本大学病院	第3木曜日 13時～15時半	熊本市中央区本荘1-1-1 096-373-5676

*場所は「がん相談支援センター」です。事前に予約のお電話をいただくとスムーズです。
*医療に関する総合的な相談等は、がん相談支援センターで受け付けています。また、医療相談ではありませんので、セカンドオピニオンの提供、医師・病院等の紹介は行っていません。

【事業に関するお問い合わせ先】

熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課 ☎096-333-2208

熊本市がんサポートセンター「がん相談ホットライン」

がんに関する様々な不安や疑問に関する相談等にごん経験者がお応えしています。

実施場所・日時等（電話・個別面談・無料・予約不要）

実施場所	日時	住所・電話番号
ウェルパークまもと4階 熊本市保健所 医療政策課	毎週月曜日・木曜日 9時半～12時 13時～15時半	熊本市中央区大江5-1-1 096-364-3355

※がんの治療法などに関する医療相談ではありません。

9

旅行時のポイント

旅行は気分転換にもなります。楽しい旅行と
するため、事前に次のことをチェックしておき
ましょう。



旅行全般

- ・旅行について担当医とよく相談し、旅行先での注意事項など確認しておきましょう

旅行先でもし具合が悪くなった場合に相談できる医療機関等についても、相談しておくといでしょう

- ・移動手段などで医療的な配慮が必要な場合は利用する交通機関、また宿泊先で食事やお風呂など配慮が必要な場合は宿泊予定の施設と、事前に相談しておきましょう

旅行会社を利用される場合は、事前に旅行会社に相談しておく、関係先へ連絡してくれるでしょう

- ・旅行の時はお薬手帳や「私のカルテ」(P.37)なども持っていくといでしょう。

海外旅行

- ・海外旅行の場合は主治医へ相談し、英語で作成した診療情報提供書や処方内容を作成してもらいましょう

- ・海外へ旅行する方で痛みのコントロールのために医療用麻薬を使用されている場合は、利用する航空会社で取り決めが異なりますので、事前に航空会社へ連絡し相談しておきましょう

10 災害時の窓口や備え

近年自然災害が増えており、避難生活を余儀なくされることもあるかもしれません。日頃から災害時への備えについて考えておきましょう。



<p>一般的な災害への備え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①情報・通信手段を確保する ラジオ・携帯電話・パソコンなど、情報を得られるようにしておきましょう ②お薬手帳・「私のカルテ」(P.37) など非常持ち出し袋のリストに加えておきましょう ③連絡先・避難先を確認しておきましょう ④避難に介助が必要な場合は、民生委員や近所の方に避難の手助けをしてもらえるようにしておきましょう ⑤お薬や療養に必要な物品によっては避難所がないものや、すぐに手に入らないものもあります 準備することが可能なものは1週間程度の物品を備えておきましょう
<p>がんの治療を受けている方の備え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①病名や受けている治療についての情報を手帳に記載しておきましょう 「私のカルテ」を使用されている方は、内容がきちんと記載されているかを確認しておきましょう 例)「何がん(がんの部位)」で「何期(がんの病期またはステージ)」なのか、これまで受けた治療(薬物療法、放射線療法、手術など)など ②緊急時の対応について医師と相談しておきましょう 例) 治療は少し遅れても大丈夫なのか、症状がある時はどうしたらよいかなど
<p>災害時の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①治療を受けられている医療機関の情報を得るようにしましょう 電話はつながらないことがあります 県や国立がん研究センターのホームページで確認しましょう ②処方箋や薬がなくても、保険薬局にお薬手帳や薬袋を持参すれば薬を受け取ることができます 携帯電話にお薬の写真や処方箋を保存しておくことも役立ちます ③抗がん剤治療中は、感染への抵抗力が低下しています。がれきやヘドロの除去や家屋の清掃は避けるようにしましょう ④感染を予防するため、マスクの着用、手洗い、体温測定をしましょう ⑤脱水や血栓を予防するため、十分に水分を取りましょう ⑥避難所では医療的な配慮が必要な場合は、避難所の保健師や看護師など医療関係者にがんの治療中であることを伝えましょう

災害時の窓口や備え

熊本県では、がん相談支援センターの紹介カードを作成しています。紹介カードの中には、災害が起こったときの備えとして、チェックする項目を記載しています。

※この紹介カードは、P.7～8に記載してある、県内のがん相談支援センターにおいてあります。

がん相談支援センター

～患者様・ご家族を支えます～

治療のこと
病院のこと
生活のこと
相談無料
治療費のこと



©2010 熊本県くまモン
熊本県がん相談機能発展事業

セカンドオピニオンのこと
心のこと
がんサロンのこと
仕事のこと
秘密厳守

がん相談支援センター

TEL 000-000-0000

〈受付時間〉 平日 0:00～00:00

熊本県の「がん相談支援センター」ホームページ：
<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/Canconsultation/>

熊本県 がん相談支援センター
🔍 で検索

災害が起こったとき

- 病気のことや治療状況を医療者に伝えられますか？
- 薬が手に入らない時はどうしたらいいか知っていますか？
- かかりつけの病院と連絡がつかない時はどこに尋ねればいいのか知っていますか？

災害時、困った時はココだもん！
がん相談支援センターへ

MEMO

【緊急時に連絡する医療機関】

①	病院名		
	担当医		
	☎	—	—
②	病院名		
	担当医		
	☎	—	—

MEMO (お薬やアレルギーのことなど)

災害時の
窓□や備え

11 備忘録

ご自身の病気等を記録しておきましょう。

氏名： _____

生年月日：大・昭・平・令 年 月 日

性別：男性・女性 血液型：A・B・O・AB 型

保険証 種別 _____ 記号・番号 _____

病名： _____ ステージ： _____

治療歴：

手術 _____ 年 月 日

薬物療法 _____ 年 月 日

放射線療法 _____ 年 月 日

その他(_____)：平・令 年 月 日

投与中の薬剤名（色・形・服用回数など）

- _____ ● _____
- _____ ● _____
- _____ ● _____

既往歴

- _____ ● _____
- _____ ● _____

連絡先

- 医療機関① _____ 病院・医院
診療科： _____ 科 担当医： _____ 先生
TEL (_____) _____

- 医療機関② _____ 病院・医院
診療科： _____ 科 担当医： _____ 先生
TEL (_____) _____

- 家族の連絡先① _____ 様 続柄 _____ TEL _____

- 家族の連絡先② _____ 様 続柄 _____ TEL _____

アレルギー 無・有 (_____)

12 がんの情報を得るために

● がん情報さがしの10カ条

1. 情報は“力”あなたの療養を左右することがあります。活用しましょう。
2. あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えましょう。
3. あなたの情報を一番多く持っているのは担当医、よく話してみましよう。
4. 別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用しましょう。
5. 医師以外の医療スタッフにも相談してみましよう。
6. がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターなど質問できる窓口を利用しましょう。
7. インターネットを活用しましょう。
8. 手に入れた情報が本当に正しいかどうか、考えましょう。
9. 健康食品や補完代替療法は利用する前によく考えましよう。
10. 得られた情報をもとに行動する前に、周囲の意見を聞きましよう。

出典：がんになったら手にとるガイド

● がん情報サービス

がん情報サービスは国立がん研究センターがん対策情報センターががんの情報を発信しているウェブサイトです

患者さんやご家族の方をはじめ、一般の方や医療専門家に対して、がんについて信頼できる最新の正しい情報をわかりやすく紹介しています

携帯電話での検索はこちら（QRコード）

国立がん研究センター
がん情報サービス

ganjoho.jp

<http://ganjoho.jp/m/>



● 各種がんに関する情報冊子



● 熊本県の情報

がん相談支援センターの役割、業務内容、熊本県内のがんサロンやがんピアおしゃべり相談室など、がん患者さんやそのご家族を支える方々のための情報を紹介しています

携帯電話での検索はこちら（QRコード）

熊本県 がん相談支援センター

<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/Canconsultation/>



がんの情報を
得るために

・ ・ ・ ・ 熊本県版がん情報冊子 ・ ・ ・ ・

発行日 第1版 平成28年1月
第2版 平成29年3月
平成29年8月（一部改訂）
第3版 平成30年10月
令和元年9月（一部改訂）
第4版 令和2年11月
令和3年9月（一部改訂）

編 著 熊本県がん診療連携協議会幹事会
相談支援・情報連携部会
（がん専門相談員ワーキンググループ）

発 行 熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課
（熊本県がん相談機能発展事業）
☎096-333-2208（直通）

熊本県版がん情報冊子に関するアンケート

今後のがん情報冊子の改訂の参考とするため以下の質問事項に回答の上、
発行者 熊本県健康づくり推進課（FAX:096-383-0498）又はがん相談支援
センターにご送付ください。

- 1 ご記入者のことについてお答えください。
記入者 患者 ご家族 医療従事者
 その他（ ）
性別 男 女
年齢 20歳未満 20代 30代 40代
 50代 60代 70代 80代以上
住居 熊本県内（ ）市・町・村 熊本県外
- 2 この冊子入手されたのはいつですか。
 がんの疑いがあるといわれたとき
 がんの診断を受けたとき
 治療中 転移・再発したとき
 その他（ ）
- 3 この冊子をどこから入手しましたか。
 病院 がんサロン・患者会 図書館
 保健所 ホームページ
 その他（ ）
- 4 この冊子は役に立ちましたか。
 とても役に立った 役に立った
 あまり役に立たなかった 全く役に立たなかった
理由（ ）
- 5 特に役立った、役に立たなかった項目は何ですか。
役に立った項目（ ）
役に立たなかった項目（ ）
- 6 その他、冊子についてのご意見、ご感想、掲載してほしい内容等のご要望等がありましたらご記入ください。

()

ご協力いただきありがとうございました。



(第4版一部改訂) 令和3年9月 熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課発行